

# HDE Controller<sup>®</sup> 5

Web-based Administration Software for Linux Servers

バーチャルドメインマニュアル

■ISP Edition



本マニュアルは、製品の改良等により予告なしに変更される場合があります。

HDE および HDE Controller は、株式会社 HDE の登録商標です。

本マニュアルに記載されている社名、団体名および製品名は、各社あるいは各団体の商標または登録商標です。

PDF ファイルからの印刷による場合のみ、本マニュアルを複製することができます。これ以外に本マニュアルおよび本マニュアルの印刷物を複製、譲渡、貸与、翻案、翻訳または公衆送信することはできません。

本マニュアルの無断転載を禁じます。

© 2008 株式会社 HDE

# 目次

マニュアルの読み方 .....	10
HDE Controllerの基本操作.....	11
■ 基本操作 .....	11
■ 設定方法 .....	12

## 第1章 Webサーバー 1

1. 基本設定 .....	2
■ 基本設定 .....	2
■ 詳細設定 .....	3
■ エラーメッセージの設定 .....	4
2. ディレクトリ管理 .....	5
■ CGI・SSIの設定 .....	5
■ ディレクトリの設定編集 .....	6
■ アクセス制御 .....	7
■ 分散設定ファイル制御 .....	9
3. ディレクトリ追加 .....	11
■ ディレクトリの追加 .....	11
4. ディレクトリ認証設定 .....	15
■ ディレクトリ認証の設定 .....	16
5. ディスク使用量一覧 .....	17
■ ディスク使用量一覧 .....	17
6. アクセス統計 .....	18

## 第2章 セキュアWebサーバー 21

1. 基本設定 .....	22
■ 基本設定 .....	22
■ 詳細設定 .....	23
2. ディレクトリ管理 .....	24
■ 基本設定 .....	24
■ 詳細な設定 .....	25
■ 分散設定ファイル制御 .....	28
3. ディレクトリ追加 .....	30

■ ディレクトリの追加.....	30
4. ディレクトリ認証設定 .....	33
■ ディレクトリ認証の設定 .....	33
5. 鍵と証明書の設定 .....	35
■ 設定の流れ .....	35
■ 現在の証明書の情報.....	36
■ SSL鍵の設定 .....	37
■ SSL鍵/証明書/CSRダウンロード.....	38
■ SSL鍵/証明書アップロード.....	39
■ 中間CA証明書アップロード.....	40

### 第3章 メールサーバー 41

1. スプール容量制限 .....	42
■ スプール容量の制限.....	42
2. スプール容量制限一括設定 .....	44
■ スプール容量の一括制限 .....	44
3. エイリアス設定 .....	46
■ エイリアスの設定 .....	46
■ エイリアスの検索 .....	47
■ エイリアスの編集 .....	48
4. 宛先不明メール転送設定 .....	49
■ 宛先不明メール転送設定 .....	49
5. 送信者認証設定 .....	50
■ 送信者認証設定.....	52
■ DomainKeys鍵管理.....	54

### 第4章 メーリングリスト 55

1. メーリングリスト管理 .....	56
■ メンバー設定 .....	57
■ メーリングリスト設定.....	58
■ メッセージ設定.....	59
2. メーリングリスト作成 .....	61
■ メーリングリストの作成 .....	61
■ コマンドメールの動作.....	63

3. テンプレート設定 .....	66
<b>第 5 章 DNSサーバー</b> .....	<b>67</b>
1. レコード管理 .....	68
<b>第 6 章 FTPサーバー</b> .....	<b>71</b>
1. 基本設定 .....	72
■ 基本設定 .....	72
■ Anonymous FTPの設定 .....	73
<b>第 7 章 ディスク使用容量制限</b> .....	<b>75</b>
1. 容量制限一覧 .....	76
■ 容量制限の一覧 .....	76
2. 容量制限一括設定 .....	79
■ 容量制限の一覧 .....	79
<b>第 8 章 アカウント</b> .....	<b>83</b>
1. ユーザー管理 .....	84
■ ユーザーの検索 .....	84
■ ログイン/メール/FTPの許可状況 .....	85
■ ユーザー設定の編集 .....	85
■ ユーザーの削除 .....	89
2. ユーザー追加 .....	90
■ ユーザーの追加 .....	90
3. CSV一括ユーザー登録 .....	92
■ ユーザーの一括追加 .....	92
4. CSV一括ユーザー削除 .....	94
■ ユーザーの一括削除 .....	94
5. CSV一括ユーザー保存 .....	96
■ ユーザーリストの保存 .....	97
6. アクセス権限設定 .....	98
■ ユーザーの検索 .....	98

■ アクセス権限設定 .....	99
7. アクセス権限一括設定 .....	101
8. テンプレート設定 .....	102

## 第9章 バックアップ 105

1. スケジュール追加 .....	106
■ スケジュール追加 .....	106
2. 今すぐバックアップ .....	109
■ サーバー内に保存 .....	109
■ クライアント内に保存 .....	110
3. バックアップファイルの復元 .....	111
■ サーバー内ファイル復元 .....	111
■ クライアント内ファイル復元 .....	112
4. スケジュール編集 .....	114
■ スケジュールの編集 .....	114
■ バックアップする領域 .....	115
■ スケジュール設定 .....	116
■ メールアドレス設定 .....	117

## 第10章 ログ管理 119

1. ログ閲覧 .....	120
■ ログ閲覧 .....	120
2. ログ監視 .....	121
■ ログ監視のルール .....	122

## 第11章 バーチャルドメイン 123

1. バーチャルドメインの状態 .....	124
■ ドメインの各種情報 .....	124

## 第12章 ネットワーク 127

1. ネットワーク情報の取得 .....	128
■ ホスト情報(host)の取得 .....	128

■ サーバー情報(dig)の取得 .....	129
■ ドメイン情報(whois)の取得 .....	130
■ ポート通信可否チェック .....	131
■ ping チェック .....	132
■ 通信経路情報(traceroute)の取得 .....	133

## 第 13 章 個人情報管理 135

1. ログインパスワード .....	136
■ パスワードの設定 .....	136
2. 詳細設定 .....	137
■ ユーザーの詳細設定 .....	137
3. メール転送 .....	138
■ メールの転送先設定 .....	138
4. メールパスワード .....	139
■ メールパスワードの設定 .....	139
5. 自動メール返信設定 .....	140
■ 自動メール返信の設定 .....	140
6. バックアップ/復元 .....	142
■ ホームのバックアップ .....	142
■ ホームの復元 .....	143
7. ユーザーステータス .....	144
■ ユーザーステータスの表示 .....	144

## 第 14 章 ユーティリティ 145

1. ファイルマネージャー .....	146
■ ファイルマネージャー .....	146
■ ファイルのアップロード .....	147
■ ファイルのダウンロード .....	148

## 第 15 章 HDE Controller設定 151

1. お気に入り .....	152
----------------	-----

## 第 16 章 CGIインストール 155

概要.....	156
1. CGI登録.....	157
2. CGI制御.....	158
■ CGIの提供制御.....	158
■ CGIパッケージのアンインストール.....	158
3. CGIインストール.....	159
4. CGI管理.....	161
5. CGIの初期化.....	163
6. CGIパッケージング.....	164



## マニュアルの読み方

このマニュアルについて

『HDE Controller 5 ISP Edition パーチャルドメインマニュアル』では、実際の表示画面に従い、各機能・項目を実際の運用に即した形で説明しています。

説明内で、注意すべき点、語句について補足が必要な点などについては、注釈を設けています。標準機能についての説明とお客様のネットワークの構成に応じて設定するオプション機能についての説明で構成されています。



注意すべき点がある場合は、注意マークや黒枠での注意書きにて、注意を促しています。



HDE Controller 5 を使用する上で参考になる項目については、「ヒント」アイコンがついています。



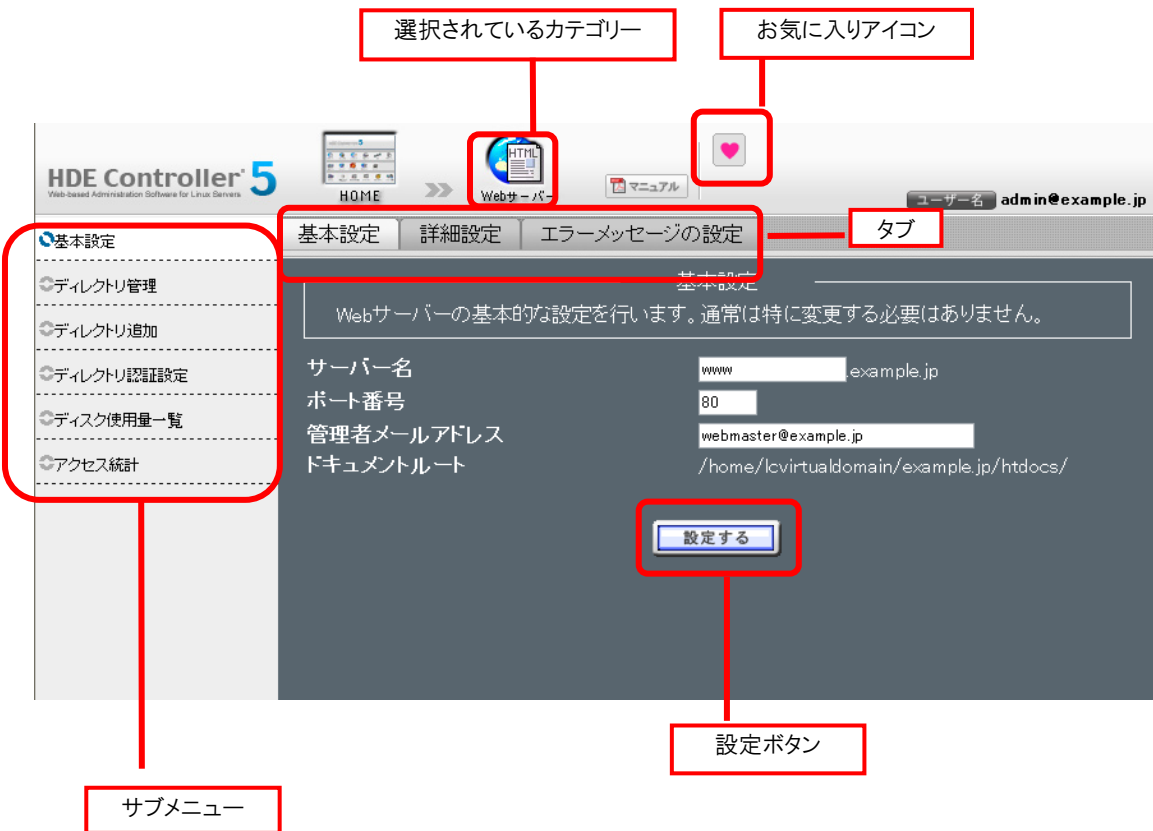
# HDE Controllerの基本操作

## ■ 基本操作

HDE Controller は様々なサーバー管理ツールをカテゴリごとにとまとめて提供しています。HDE Controller のトップページのことを「メインメニュー」と呼びます。

メインメニューの下にはさらにサブメニューが存在し、それぞれのメニューにアクセスすると、左側にサブメニューが表示されます。このサブメニューが具体的な設定などを行う場所になっています。

また、サブメニューの中にもさらに下位分類がある場合には、画面中央に複数のタブが表示されます。



## ■ 設定方法

各種の設定は、サブメニューをクリックして表示される画面の中央下部にある「設定する」というボタンを押すことで完了します。「設定する」ボタンをクリックすると、設定を保存する画面が表示された後、「設定が完了しました」というアラートが表示されます。「設定する」ボタンをクリックしないと、設定は保存されないので注意してください。

メニューによっては、「設定する」ボタンが存在しないものもあります。

# HDE Controller 5

---

## 第 1 章 Webサーバー

### 1. 基本設定

Web サーバーの基本的な設定を行ないます。

#### ■ 基本設定

基本設定    詳細設定    エラーメッセージの設定

基本設定

Webサーバーの基本的な設定を行います。通常は特に変更する必要はありません。

サーバー名    www    example.jp

ポート番号    80

管理者メールアドレス    webmaster@example.jp

ドキュメントルート    /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/

設定する

「サーバー名」「ポート番号」「管理者メールアドレス」を入力します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を完了します。

## ■ 詳細設定

基本設定 詳細設定 エラーメッセージの設定

詳細設定

ここでは、個人のページのURLの指定方法と、サーバーのログ形式を選択します。

ユーザー領域のURLのタイプ?

サーバーログ形式

エージェント?

参照元?

画像?

リモートホスト名の逆引き?

ユーザー領域を公開する場合の URL のタイプ、サーバーのログ形式について設定します。

「ユーザー領域の URL のタイプ」を選択します。

下記のいずれかの形式となります。

例:

`http://example.com/~username/`

`http://example.com/users/username/`

「サーバーのログ形式」を選択します。

- ・ エージェント  
閲覧している Web ブラウザのタイプを記録します。
- ・ 参照元  
表示したページがリンクされていた参照元 URL を記録します。
- ・ 画像  
表示したページに含まれる画像の URL を記録します。

「リモートホスト名の逆引き」を有効にするか設定します。メニューより「する」「しない」を選択します。逆引きを有

効にした場合、Web サーバーのパフォーマンスが低下する場合があります。

### ■ エラーメッセージの設定

基本設定    詳細設定    エラーメッセージの設定

エラーメッセージの設定

アドレス(URL)が正しく指定されていなかった場合などに表示するエラーメッセージを指定することができます。

- ブラウザーの言語設定に合わせる
- エラーメッセージを日本語にする
- エラーメッセージを英語にする

エラーメッセージの場所を指定する ?

ファイルが見つからない(404)

アクセス不許可(403)

サーバーエラー(500)

設定する

リクエストされた Web サイトのアドレスが間違っている場合に表示するエラーメッセージを設定します。  
エラーメッセージの言語を選択します。

エラーメッセージが記録されたファイルの場所を指定する場合は、「エラーメッセージの場所を指定する」を選択し、ファイルの保存されているパスを、それぞれの項目に入力します。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 2. ディレクトリ管理

Web サーバーで公開するディレクトリの設定を行います。

### ■ CGI・SSIの設定

http://www.example.jp:80/ の設定

個別に設定をおこなうディレクトリに関する情報です。  
「CGI」「SSI」などに関してはクリックすることで設定の変更が可能です。また、詳細な設定を行なう場合は「編集」ボタンを押してください。

CGI	SSI	絶対ディレクトリパス	アクション
<input type="checkbox"/> CGI	<input type="checkbox"/> SSI	/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/	編集  削除

**⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。**

CGI および SSI を設定する場合は「CGI」「SSI」ボタンをクリックします。

「許可」に設定されるとボタンが点灯した状態に変わります。

「設定する」ボタンをクリックして終了します。



拡張子.cgi のファイルのみが実行可能です。

### ■ ディレクトリの設定編集

Web サーバーのディレクトリを編集します。  
ディレクトリの一覧から、「編集」ボタンをクリックすると、「ディレクトリの設定」画面が表示されます。

ディレクトリの設定    アクセス制御    分散設定ファイル制御

http://www.example.jp:80/ の設定

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/

CGI 使用不可 ▼

SSI 使用不可 ▼

CPU最大使用時間 秒

OK Cancel

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

「ディレクトリ」にパスを入力します。

「CGI」「SSI」それぞれの、「使用可」「使用不可」を選択します。

「CGI」や「SSI」の CPU 使用時間を制限したい場合は、「CPU 最大使用時間」に使用を許可する最大の時間を秒単位で設定します。これは CGI などが実際に CPU を使用した時間であり、起動してからの経過時間ではないことに注意してください。

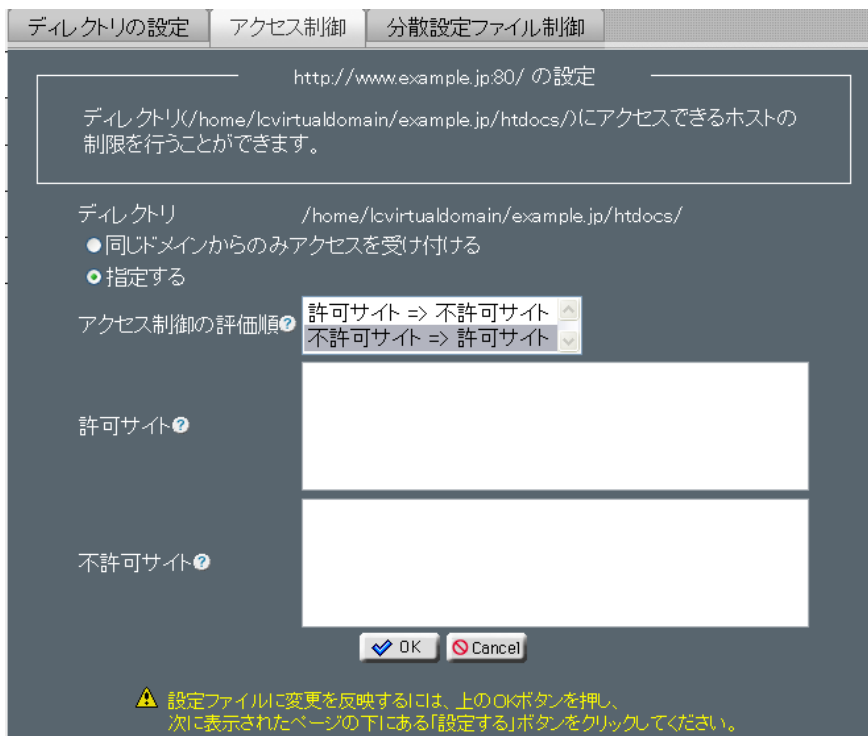
何も指定しない場合は無制限となります。

「設定する」ボタンをクリックして終了します。

## ■ アクセス制御

ディレクトリのアクセス制御設定をします。

ディレクトリの一覧から、「編集」ボタンをクリックすると、「ディレクトリの設定」画面が表示されます。「アクセス制御」タブをクリックして設定画面を切り替えます。



http://www.example.jp:80/ の設定

ディレクトリ/home/localhost/example.jp/htdocs/にアクセスできるホストの制限を行うことができます。

ディレクトリ /home/localhost/example.jp/htdocs/

同じドメインからのみアクセスを受け付ける

指定する

アクセス制御の評価順

許可サイト => 不許可サイト

不許可サイト => 許可サイト

許可サイト

不許可サイト

OK Cancel

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

同じドメインのみアクセスを許可する場合は、「同じドメインからのみアクセスを受け付ける」を選択します。制御対象を指定する場合は「指定する」を選択します。

「アクセス制御の評価順」メニューから、許可サイトと不許可サイトどちらの評価を優先するか選択し、「許可サイト」「不許可サイト」それぞれに制御対象となるアドレスを入力します。

「OK」ボタンをクリックして、ディレクトリ一覧画面に戻ります。

ディレクトリ一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして終了します。

## 第 1 章 Web サーバー

- アクセス制御に入力できる形式

ホスト名	host.example.com
IP アドレス	192.168.0.1
IP アドレスの一部	192.168.0.
IP アドレス/ネットマスク	192.168.0.0/255.255.255.0
複数の指定	192.168.0.0/24 172.16.0.0/16 (それぞれスペースで区切るか改行)
全てを指定	all(全てのホストに対して設定します。)
ドメイン名	.example.com

## ■ 分散設定ファイル制御

ディレクトリの AllowOverride ディレクティブを設定します。

AllowOverride ディレクティブは、分散設定ファイル(.htaccess というファイル名で知られています)によって設定の変更が可能なディレクティブを指定するものです。

ディレクトリ /home/localhost/example.jp/htdocs/ のAllowOverrideディレクティブを設定します。AllowOverrideディレクティブは、分散設定ファイル(.htaccessというファイル名で知られています)によって設定の変更が可能なディレクティブを指定するものです。

このディレクトリに対して何も設定しない場合は、このディレクトリの上位(親)ディレクトリの設定を継承します。

上位ディレクトリの、現時点で有効な設定を以下に示します。

- ◆ **None:** 分散設定ファイルは使用できません。

設定方法を選択してください

- **None:** 分散設定ファイルを使用できないようにする
- **All:** 分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にする
- **このディレクトリには設定しない** (選択済み)
- **以下のリストから選択する** (?

- **AuthConfig** 認証に関するディレクティブを使用可能にする
- **FileInfo** ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする
- **Indexes** ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする
- **Limit** ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする
- **Options** 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする

OK Cancel

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

このディレクトリに対して何も設定しない場合は、このディレクトリの上位(親)ディレクトリの設定を継承します。

## 第 1 章 Web サーバー

分散設定ファイル制御を下記の設定方法から選択することができます。

None	分散設定ファイルを使用できないようにします
All	分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にします
このディレクトリには設定しない	上位(親)ディレクトリの設定を継承します
以下のリストから選択する	下記に示されたリストより設定方法を選択します AuthConfig: 認証に関するディレクティブを使用可能にする FileInfo: ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする Indexes: ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする Limit: ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする Options: 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする

正しければ「OK」ボタンをクリックします。

ディレクトリ一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして終了します。

### 3. ディレクトリ追加

Web サーバーを通して公開するディレクトリを追加します。

#### ■ ディレクトリの追加

Web サーバーで公開するディレクトリを追加し、CGI・SSI の許可を設定します。

http://www.example.jp:80/ の設定

公開するディレクトリの中で個別に設定をおこないたいディレクトリをここで指定します。また、このディレクトリでCGIとSSIの実行を許可するかどうか設定します。

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/ ディレクトリ選択

CGI 使用不可

SSI 使用不可

CPU最大使用時間  秒

分散設定ファイル制御

- None
- All
- このディレクトリには設定しない
- 右のリストから選択する

- AuthConfig
- FileInfo
- Indexes
- Limit
- Options

キャンセル 進む

追加するディレクトリのパスを、「ディレクトリ」に入力するか、「選択」ボタンをクリックし、ディレクトリ選択画面から選択します。

「CGI」や「SSI」の CPU 使用時間を制限したい場合は、「CPU 最大使用時間」に使用を許可する最大の時間を秒単位で設定します。これは CGI などが実際に CPU を使用した時間であり、起動してからの経過時間ではないことに注意してください。

何も指定しない場合は無制限となります。

分散設定ファイル制御を下記の設定方法から選択します。

None	分散設定ファイルを使用できないようにします
All	分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にします
このディレクトリには設定しない	上位(親)ディレクトリの設定を継承します
以下のリストから選択する	下記に示されたリストより設定方法を選択します AuthConfig: 認証に関するディレクティブを使用可能にする FileInfo: ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする Indexes: ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする Limit: ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする Options: 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする

「進む」ボタンをクリックして次の設定へ進みます。

http://www.example.jp:80/ の設定

ディレクトリ(/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/example.com)にアクセスできるホストの制限を行うことができます。

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/example.com

- 同じドメインからのみアクセスを受け付ける
- 指定する

アクセス制御の評価順? 許可サイト => 不許可サイト  
不許可サイト => 許可サイト

許可サイト?

不許可サイト?

戻る キャンセル 設定する

ディレクトリのアクセス制御を設定します。

同じドメインのみアクセスを許可する場合は、「同じドメインからのみアクセスを受け付ける」を選択します。

制御対象を指定する場合は「指定する」を選択します。

「アクセス制御の評価順」メニューから、許可サイトと不許可サイトどちらの評価を優先するか選択し、「許可サイト」「不許可サイト」それぞれに制御対象となるアドレスを入力します。

正しければ「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 第1章 Web サーバー

- アクセス制御に入力できる形式

ホスト名	host.example.com
IP アドレス	192.168.0.1
IP アドレスの一部	192.168.0.
IP アドレス/ネットマスク	192.168.0.0/255.255.255.0
複数の指定	192.168.0.0/24 172.16.0.0/16 (それぞれスペースで区切るか改行)
全てを指定	all(全てのホストに対して設定します。)
ドメイン名	.example.com



「設定する」ボタンをクリックし設定を終了します。



## 4. ディレクトリ認証設定

Web サーバーで公開するディレクトリの、認証設定を行います。

Webディレクトリ認証設定

Webディレクトリの認証設定を行います。既に設定の行われているディレクトリであれば、ディレクトリ名横のフォルダアイコンをクリックすることにより、認証のオン・オフが切り替わります。

 認証オフ       認証オン

ディレクトリ名	ユーザー数	アクション
 /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/	設定されていません	 編集

### ■ ディレクトリ認証の設定

Web ディレクトリの一覧より、認証を設定するディレクトリの、「編集」ボタンをクリックします。認証内容の設定画面が表示されます。

「認証名」に認証時に表示する内容を入力します。(例: ENTER PASSWORD)

認証の為の「ユーザー名」「パスワード」をそれぞれ入力し、「追加」ボタンをクリックすると、設定が追加されます。

追加した認証を使用する場合は、「認証機能を有効にする」を選択します。  
アクセス可能なユーザーを追加する場合は、「ユーザー名」「パスワード」を入力し、「追加」ボタンをクリックして、追加します。追加されたユーザーのパスワードを変更する場合は、編集ボタンをクリックし編集を行います。

「戻る」ボタンをクリックし、ディレクトリ一覧画面に戻ります。  
「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

既に認証が設定されているディレクトリについては、ディレクトリ一覧画面で、フォルダのアイコンをクリックすることにより認証の有効/無効を切り替えることができます。

## 5. ディスク使用量一覧

ユーザーの Web スペース使用量を一覧表示します。

### ■ ディスク使用量一覧

ディスク使用量一覧

ユーザー毎のWebスペースのディスク使用量を表示します。

ユーザーの検索  表示件数 10

最小表示件数1

---

全 2 件  
ユーザー名の頭文字 [a-f](#) [全て表示](#)

ユーザー名	ディレクトリ	ディスク使用量(MBytes)
admin	/home/lcvirtualdomain/example.jp/public_html/	0.02
ftp	/home/lcvirtualdomain/example.jp/users/ftp/public_html/	0.01

ディスク使用量一覧には、ユーザー名、ディレクトリ、ディスク使用量、が一覧表示されます。ユーザーを検索する場合は、「ユーザーの検索」に検索キーワードを入力します。検索結果の表示件数を変更する場合は、「表示件数」の値を変更します。

システムアカウントは通常表示されません。システムアカウントを検索結果として表示させる場合は、「システムアカウントも表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

ユーザー名の頭文字から検索する場合は、「ユーザー名の頭文字」に表示される、頭文字の範囲をクリックします。

全てのユーザーを一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

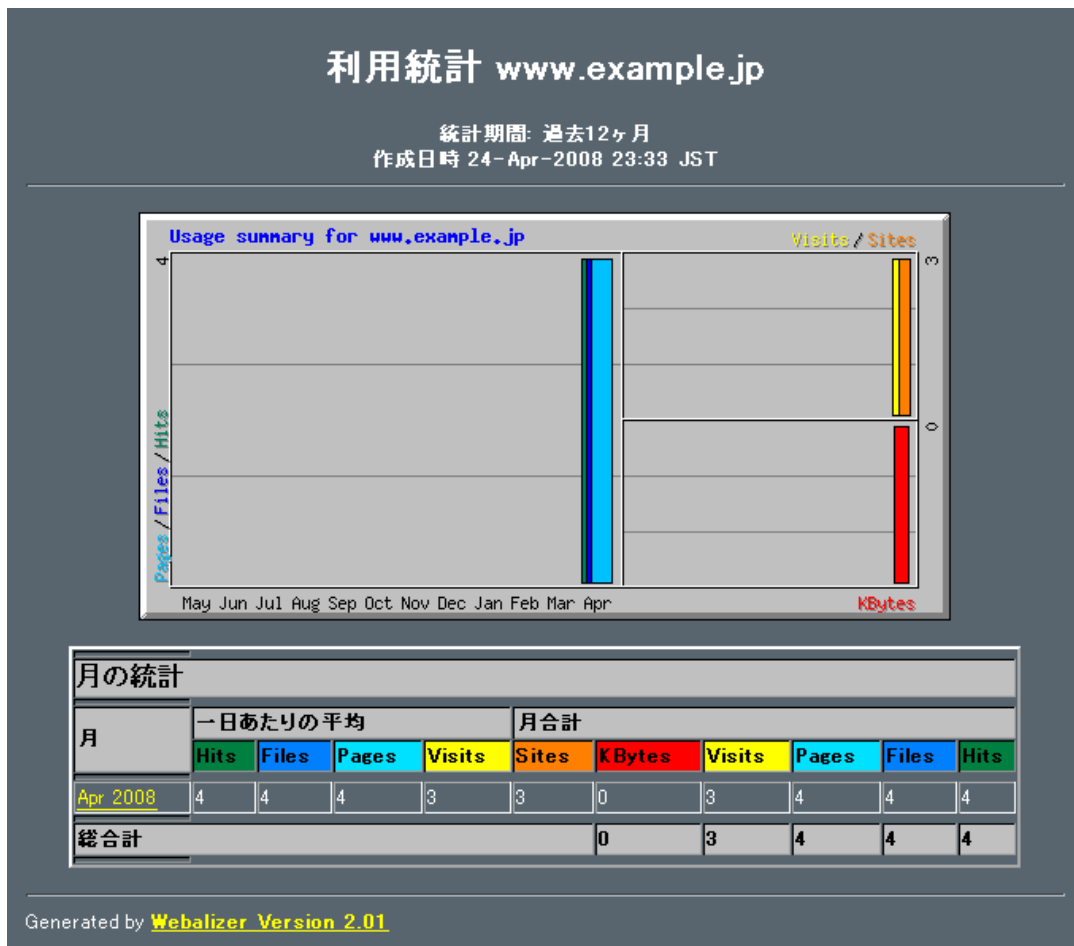
ユーザー名、ディスク使用量については、項目名をクリックすることで、表示を、降順／昇順に切り替えることが出来ます。

## 6. アクセス統計

Web サーバーのログを解析し、解析結果を表示します。

月の統計、日ごとの統計、時間ごとの統計、ヒット数ランキング(URL、エントリー、Exit、サイト)、リファラー、検索文字列、ユーザーエージェント、国別統計が利用できます。

「アクセス統計」メニューをクリックすると、まず過去 12 ヶ月の月の統計が表示されます。



表示される指標の意味は以下の通りです。

Hits	エラーを含む、Web サーバーへの全アクセス数
Files	Hits のうち、正常なアクセスの数
Pages	Hits のうち、HTML ページの数
Visits	訪問者数 (30 分以内で同一の IP アドレスからのアクセスはカウントしない)
Sites	訪問者数 (同一の IP アドレスからのアクセスはカウントしない)
KBytes	転送したデータ量

月の統計以外の統計については、各月のリンクをクリックすると表示されます。

## 利用統計 [www.example.jp](#)

統計期間: April 2008  
作成日時 24-Apr-2008 23:33 JST

[\[日ごとの統計\]](#)
[\[時間ごとの統計\]](#)
[\[URL\]](#)
[\[エントリー\]](#)
[\[Exit\]](#)
[\[サイト\]](#)
[\[リファラー\]](#)
[\[検索文字列\]](#)
[\[国\]](#)

月の統計 April 2008		
全ヒット数	4	
全ファイル数	4	
合計 Pages	4	
合計 Visits	3	
全 KBytes数	0	
個別サイト数	3	
個別URL数	1	
個別リファラー数	1	
	平均	最大
一時間あたりのヒット数	0	4
一日あたりのヒット数	4	4
一日あたりのファイル数	4	4
一日あたりのページ数	4	4
一日あたりの訪問者数	3	3
一日あたりのKBytes数	0	0
レスポンスコードごとのヒット数		
Code 200 - OK	4	



# HDE Controller 5

---

## 第2章 セキュアWebサーバー

### 1. 基本設定

セキュア Web サーバーの基本的な設定を行ないます。

#### ■ 基本設定

基本設定    詳細設定

基本設定

セキュアWebサーバーは、Webサーバーとブラウザを結ぶ通信路を暗号化し、セキュアな通信を実現するものです。

サーバー名     example.jp

ポート番号   

管理者メールアドレス   

ドキュメントルート

- /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs
- /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs\_ssl

「サーバー名」「管理者メールアドレス」を入力します。

ドキュメントルートを選択し、「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。



root ユーザーはポート番号を変更することもできます。

## ■ 詳細設定

セキュア Web サーバーを通して公開する、ユーザーのディレクトリを設定します。

基本設定 詳細設定

セキュアWebサーバーの設定

ここでは、個人のページにおいて、SSL化するべきコンテンツの置き場所を指定します。通常と同じディレクトリに置く方法と、異なるディレクトリに置く方法が選択できます。

**⚠ ユーザー領域のURLタイプ(/username/, /users/username/)は「Webサーバー」→「基本設定」の「詳細設定」で設定できます。**

ユーザーのディレクトリ

- 通常のWebサーバーと同じにする(public\_html)?
- 通常のWebサーバーと異なる場所に置く?

public\_ssl\_html

リモートホスト名の逆引き?  する

設定する

通常の Web サーバーと同じ設定(public\_html)にする場合は、「通常の Web サーバーと同じにする」を選択します。

通常の Web サーバーと異なるディレクトリを指定する場合は、「通常の Web サーバーと異なる場所に置く」を選択し、ディレクトリ名を入力します。

リモートホスト名を逆引きする場合は「リモートホスト名の逆引き」を「する」に設定します。「する」に設定した場合、アクセス元のホスト名が、アクセスログに記録されますが、Web サーバーのパフォーマンスが低下することがあります。

正しければ「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

### 2. ディレクトリ管理

セキュア Web サーバーのディレクトリについて個別に管理・設定します。

#### ■ 基本設定

https://www.example.jp:444/ の設定

個別に設定をおこなうディレクトリに関する情報です。  
「CGI」「SSI」などに関してはクリックすることで設定の変更が可能です。また、詳細な設定を行なう場合は「編集」ボタンを押してください。

CGI	SSI	絶対ディレクトリパス	アクション
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs_ssl/	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

⚠️ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

CGI、および、SSI を有効にする場合は「CGI」「SSI」をクリックします。ボタンが点灯した状態に変わります。正しければ「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## ■ 詳細な設定

詳細な設定を行う場合は、ディレクトリー一覧画面から「編集」ボタンをクリックします。「ディレクトリの設定」「アクセス制御」の設定タブが表示されます。

「ディレクトリの設定」メニューでは、ディレクトリの変更、CGI・SSIの使用可否を設定します。ディレクトリを変更する場合は、ディレクトリの場所を修正します。

「CGI」や「SSI」の CPU 使用時間を制限したい場合は、「CPU 最大使用時間」に使用を許可する最大の時間を秒単位で設定します。これは CGI などが実際に CPU を使用した時間であり、起動してからの経過時間ではないことに注意してください。

何も指定しない場合は無制限となります。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 第2章 セキュア Web サーバー

アクセス制御メニューでは、ディレクトリのアクセス制限を設定します。

ディレクトリの管理    アクセス制御    分散設定ファイル制御

https://www.example.jp:444/ の設定

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs\_ssl/

同じドメインからのみアクセスを受け付ける

指定する

アクセス制御の評価順

許可サイト

不許可サイト

OK Cancel

**⚠** 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

同じドメインのみ許可する場合は、「同じドメインからのみアクセスを受け付ける」を選択します。制御対象を指定する場合は、「指定する」を選択します。

「アクセス制御の評価順」メニューから、許可サイト優先か、不許可サイト優先か選択し、「許可サイト」「不許可サイト」それぞれに適切な値/ドメイン名を入力します。

正しければ「OK」ボタンをクリックします。

- アクセス制御に入力できる形式

ホスト名	host.example.com
IP アドレス	192.168.0.1
IP アドレスの一部	192.168.0.
IP アドレス/ネットマスク	192.168.0.0/255.255.255.0
複数の指定	192.168.0.0./24 172.16.0.0/16 (それぞれスペースで区切るか改行)
全てを指定	all(全てのホストに対して設定します。)
ドメイン名	.example.com

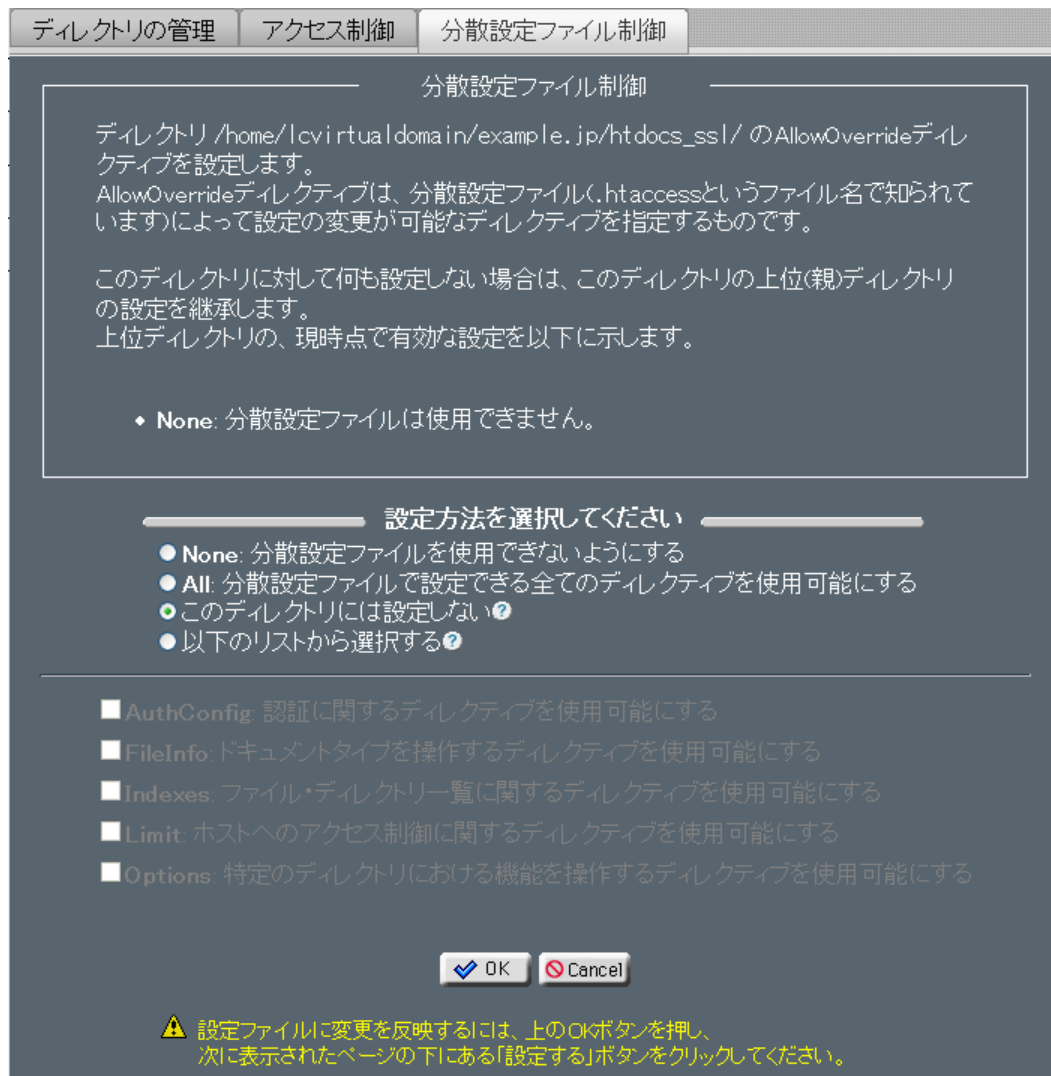
ディレクトリー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### ■ 分散設定ファイル制御

ディレクトリの AllowOverride ディレクティブを設定します。

AllowOverride ディレクティブは、分散設定ファイル(.htaccess というファイル名で知られています)によって設定の変更が可能なディレクティブを指定するものです。

このディレクトリに対して何も設定しない場合は、このディレクトリの上位(親)ディレクトリの設定を継承します。



ディレクトリの管理    アクセス制御    分散設定ファイル制御

分散設定ファイル制御

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs\_ssl/ のAllowOverrideディレクティブを設定します。  
AllowOverrideディレクティブは、分散設定ファイル(.htaccessというファイル名で知られています)によって設定の変更が可能なディレクティブを指定するものです。

このディレクトリに対して何も設定しない場合は、このディレクトリの上位(親)ディレクトリ  
の設定を継承します。  
上位ディレクトリの、現時点で有効な設定を以下に示します。

- ◆ **None:** 分散設定ファイルは使用できません。

設定方法を選択してください

- None:** 分散設定ファイルを使用できないようにする
- All:** 分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にする
- このディレクトリには設定しない** ?
- 以下のリストから選択する** ?

- AuthConfig:** 認証に関するディレクティブを使用可能にする
- FileInfo:** ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする
- Indexes:** ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする
- Limit:** ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする
- Options:** 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする

OK Cancel

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

分散設定ファイル制御を下記の設定方法から選択することができます。

None	分散設定ファイルを使用できないようにします
All	分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にします
このディレクトリには設定しない	上位(親)ディレクトリの設定を継承します
以下のリストから選択する	下記に示されたリストより設定方法を選択します  AuthConfig: 認証に関するディレクティブを使用可能にする FileInfo: ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする Indexes: ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする Limit: ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする Options: 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする

正しければ「OK」ボタンをクリックします。

ディレクトリ一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして終了します。

### 3. ディレクトリ追加

セキュア Web サーバーのディレクトリを追加します。

#### ■ ディレクトリの追加

セキュア Web サーバーを通して公開するディレクトリを追加し、CGI・SSI の許可を設定します。

https://www.example.jp:444/ の設定

公開するディレクトリの中で個別に設定をおこないたいディレクトリをここで指定します。また、このディレクトリでCGIとSSIの実行を許可するかどうか設定します。

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs\_ssl/

CGI 使用不可

SSI 使用不可

CPU最大使用時間 秒

分散設定ファイル制御

- None
- All
- このディレクトリには設定しない
- 右のリストから選択する

- AuthConfig
- FileInfo
- Indexes
- Limit
- Options

公開するディレクトリのパスを「ディレクトリ」に入力するか、「選択」ボタンをクリックして、ディレクトリ選択画面から選択します。

「CGI」や「SSI」の CPU 使用時間を制限したい場合は、「CPU 最大使用時間」に使用を許可する最大の時間を秒単位で設定します。これは CGI などが実際に CPU を使用した時間であり、起動してからの経過時間ではないことに注意してください。

何も指定しない場合は無制限となります。

「進む」ボタンをクリックして、次の設定へ進みます。

https://www.example.jp:444/ の設定

公開するディレクトリの中で個別に設定をおこないたいディレクトリをここで指定します。また、このディレクトリでCGIとSSIの実行を許可するかどうか設定します。

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs\_ssl/ 📁 ディレクトリ選択

CGI

SSI

CPU最大使用時間  秒

分散設定ファイル制御

- None
- All
- このディレクトリには設定しない
- 右のリストから選択する
- AuthConfig
- FileInfo
- Indexes
- Limit
- Options

ディレクトリのアクセス制御を設定します。

分散設定ファイル制御を下記の設定方法から選択します。

None	分散設定ファイルを使用できないようにします
All	分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にします
このディレクトリには設定しない	上位(親)ディレクトリの設定を継承します
以下のリストから選択する	<p>下記に示されたリストより設定方法を選択します</p> <p>AuthConfig: 認証に関するディレクティブを使用可能にする</p> <p>FileInfo: ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする</p> <p>Indexes: ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする</p> <p>Limit: ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする</p> <p>Options: 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする</p>

「進む」ボタンをクリックして、次の設定へ進みます。

同じドメインのみ許可する場合は、「同じドメインからのみアクセスを受け付ける」を選択します。

制御対象を指定する場合は、「指定する」を選択します。

## 第2章 セキュア Web サーバー

「アクセス制御の評価順」メニューから許可サイト優先か、不許可サイト優先か選択し、「許可サイト」「不許可サイト」それぞれに適切な値/ドメイン名を入力します。  
「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

- アクセス制御に入力できる形式

ホスト名	host.example.com
IP アドレス	192.168.0.1
IP アドレスの一部	192.168.0.
IP アドレス/ネットマスク	192.168.0.0/255.255.255.0
複数の指定	192.168.0.0/24 172.16.0.0/16 (それぞれスペースで区切るか改行)
全てを指定	all(全てのホストに対して設定します。)
ドメイン名	.example.com

## 4. ディレクトリ認証設定

Web サーバーで公開するディレクトリの認証設定を行います。

### ■ ディレクトリ認証の設定

Webディレクトリ認証設定

Webディレクトリの認証設定を行います。既に設定の行われているディレクトリであれば、ディレクトリ名横のフォルダアイコンをクリックすることにより、認証のオン・オフが切り替わります。

認証オフ 認証オン

ディレクトリ名	ユーザー数	アクション
/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs_ssl/	設定されていません	編集

設定する

Web ディレクトリの一覧より認証を設定するディレクトリの「編集」ボタンをクリックします。

■ 認証機能を有効にする

認証名

認証ファイル /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs\_ssl/.htpasswd

新規ユーザー追加

ユーザー名  パスワード

パスワード(再入力)  追加

ユーザー名	アクション
ユーザーは登録されていません。	

戻る

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上の「戻る」ボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

「認証名」に認証時、認証ダイアログに表示する内容を入力します。(例: ENTER PASSWORD)

認証の為の「ユーザー名」「パスワード」をそれぞれ入力し「追加」ボタンをクリックします。設定が追加されます。

## 第 2 章 セキュア Web サーバー

追加する認証を使用する場合は「認証機能を有効にする」を選択します。

「戻る」ボタンをクリックし、ディレクトリー一覧画面に戻ります。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

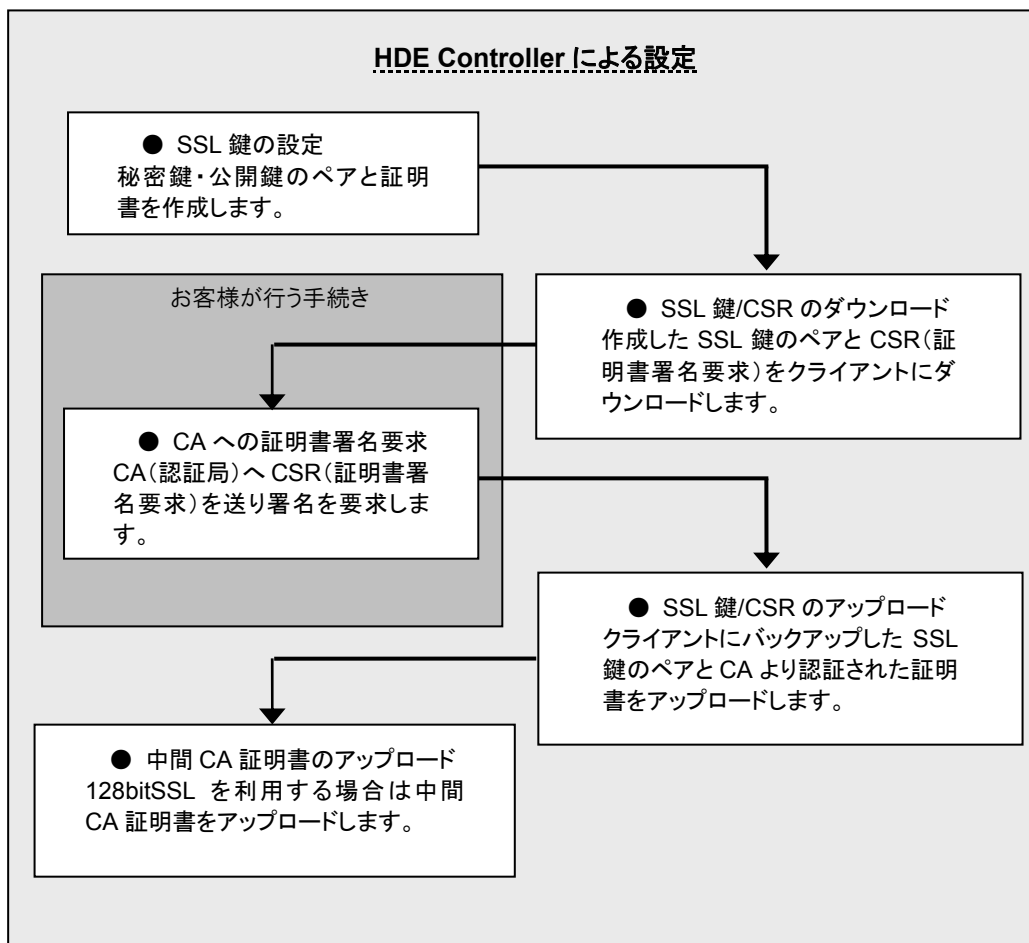
既に認証が設定されているディレクトリについては、ディレクトリー一覧画面で、フォルダのアイコンをクリックすることにより認証の有効／無効を切り替えることが出来ます。

## 5. 鍵と証明書の設定

セキュア Web サーバーの SSL 暗号化のための秘密鍵・公開鍵の設定を行いません。

### ■ 設定の流れ

鍵と証明書の設定の流れは以下のようになります。



## 第2章 セキュア Web サーバー

### ■ 現在の証明書の情報

現在設定されている証明書の情報が表示されます。

鍵と証明書の情報   WebサーバーのSSLキー設定   鍵・証明書のダウンロード   鍵・証明書のアップロード   中間CA証明書アップロード

鍵と証明書の情報

ここでは、WebサーバーをSSL化するための秘密鍵/公開鍵のペア、および鍵の証明書の作成を行います。  
鍵および証明書は、一度作成すれば証明書の有効期限が切れるまでは変更の必要はありません。  
証明書の有効期限が切れたとき、あるいは、以下の設定に誤りがある場合のみ、新しい鍵および証明書の作成を行うようにしてください。

現在の証明書の情報

	受領者②	発行者②
国名	JP	JP
都道府県名	Tokyo	Tokyo
市町村名	Shibuya-ku	Shibuya-ku
組織名	HDE	HDE
部署名	HDE TEST CERTIFICATE PUBLISHER	HDE TEST CERTIFICATE PUBLISHER
サーバ名とドメイン名	example.com	example.com
E-mail アドレス	root@example.com	root@example.com

## ■ SSL 鍵の設定

セキュア Web サーバー用の SSL 鍵を設定します。

WebサーバーのSSLキー設定

WebサーバーへのアクセスをSSL化させるために秘密鍵/公開鍵および証明書の発行が必要です。例に従って正確に情報を入力してください。

国名	JP	記入例	JP
都道府県名	Tokyo		Tokyo
市町村名	Shibuya-ku		Shibuya-ku
組織名	HDE		HDE
部署名	HDE TEST CERTIFICATE PUBLISHER		Development
サーバー名とドメイン名	example.com		www.hde.co.jp
E-mail アドレス	root@example.com		webmaster@hde.co.jp

- 上記の情報を更新します。SSLキーペアと証明書が作成されることはありません。(デフォルト)
- 新しいSSL秘密鍵/公開鍵のペアと、証明書を作り直します。
- 上記の情報を用いて、証明書のみを作り直します(キーペアは変更されません)。

⚠ 新しい鍵を作成すると、ブラウザによってはWebサーバーにアクセスできなくなる場合があります。この場合は、ブラウザが記録されている古い鍵を削除し、ブラウザを再起動してください。

設定する

Web サーバーへのアクセスを SSL 化させるためこの設定により秘密鍵／公開鍵および証明書の発行が必要です。

「国名／都道府県名／市町村名／組織名／サーバー名とドメイン名／E-mail アドレス」を正しく入力します。

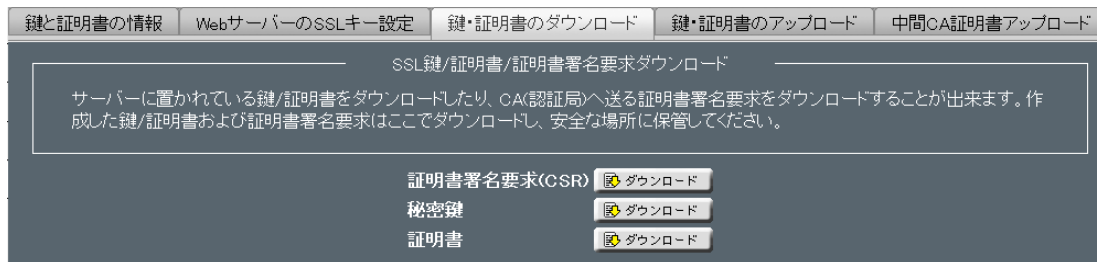
設定方法として、下表のいずれかから選択します。

## ● SSL 鍵の設定方法

チェックボックスの選択肢	動作の概要
上記の情報を更新します。SSL 鍵のペアと証明書が作成されることはありません。	既に設定されている証明書の情報のみを更新します。
新しい SSL 秘密鍵／公開鍵のペアと、証明書を作り直します。	新規に SSL 秘密鍵／公開鍵、証明書を作成します。初めて設定する場合や証明書を変更する場合は必ず行ないます。
上記の情報を用いて、証明書のみを作り直します。	既に設定されている鍵／証明書情報を元に、証明書のみを作り直します。

## 第2章 セキュア Web サーバー

### ■ SSL鍵/証明書/CSRダウンロード



SSL 鍵・証明書と CSR(証明書署名要求)をクライアントにダウンロードすることができます。

CSR は CA(認証局)へ送付するためにダウンロードを行いません。

秘密鍵・公開鍵ペア、および、証明書はバックアップのためにダウンロードを行いません。


「ダウンロード」ボタンをクリックするとファイルをダウンロードすることができます。

## ■ SSL鍵/証明書アップロード


鍵と証明書の情報   WebサーバーのSSLキー設定   鍵・証明書のダウンロード   鍵・証明書のアップロード   中間CA証明書アップロード

SSL鍵/証明書のアップロード


バックアップしておいた鍵/証明書や、CA(認証局)から署名を受けた証明書をアップロードできます。かならず対応する鍵と証明書を同時にアップロードしてください。

秘密鍵 

テキストのコピーペーストによって鍵を指定する

証明書 

テキストのコピーペーストによって証明書を指定する

 アップロード

SSL 鍵・証明書をクライアントからアップロードすることができます。

アップロードする鍵、証明書は必ず対応するものを同時にアップロードします。

ファイルの保存されているパスを、「秘密鍵／公開鍵ペア」「証明書」それぞれに入力するか「参照」ボタンをクリックし直接ファイルが存在するディレクトリを指定します。

テキストを直接入力することも可能です。



ファイルを指定する方法と、直接入力する方法を同時に行なうことはできません。



パスフレーズ付きの秘密鍵は利用することができません。

## 第2章 セキュア Web サーバー

### ■ 中間CA証明書アップロード

The screenshot shows a web interface with a navigation bar at the top containing five tabs: '鍵と証明書の情報', 'WebサーバーのSSLキー設定', '鍵・証明書のダウンロード', '鍵・証明書のアップロード', and '中間CA証明書アップロード'. The active tab is '中間CA証明書アップロード'. The main content area has a title '中間CA証明書アップロード' and a text box explaining that intermediate CA certificates must be uploaded for SSL keys to be recognized by browsers, especially for Perisayn Global Server IDs. Below this is a form with a label '中間CA証明書' and a '参照...' button. A second label 'テキストのコピーペーストによって中間CA証明書を指定する' is followed by a large empty text area. At the bottom of the form is an 'アップロード' button with a folder icon. A status message at the very bottom states '中間CA証明書は現在設定されていません。'

中間 CA 証明書をアップロードします。

Web ブラウザが正しく認証を行なうために中間 CA 証明書が必要な SSL 鍵の場合、必要になります。  
(128bit SSL を利用する場合に必要になります。ペリサイングローバルサーバーID など)

# HDE Controller 5

---

## 第3章 メールサーバー

### 1. スプール容量制限

メールアドレスを持つユーザーが使用できる、メールスプール(メールを保存しておける領域)の容量を制限します。

#### ■ スプール容量の制限

スプール制限容量の設定

メールスプールの制限容量の設定を行います。スプールの容量を制限すれば、ユーザーがメールスプールに貯めておくことの出来るメールの最大サイズを制限することが出来ます。HDE Controllerから追加していないユーザーには、設定が出来ないことがあります。

ユーザー検索  表示件数: 10

システムアカウントも表示する 最小表示件数: 1

全1件		全て表示	
ユーザーの頭文字 a - a			
ユーザー名	ディスク使用量	制限容量	アクション
admin	0 bytes	無制限	<input type="button" value="編集"/>

スプール制限の容量を設定するユーザーを検索します。

「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。検索結果の表示件数を変更する場合は、「表示件数」の値を変更します。

通常システムアカウントは表示されません。検索結果にシステムアカウントを表示する場合は、「システムアカウントも表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

ユーザーの頭文字から検索する場合は、「ユーザーの頭文字」に表示されている、頭文字の範囲をクリックします。全てのユーザーを一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

ユーザー名、ディスク使用量については、項目名をクリックすることで、表示を、降順／昇順に切り替えることが出来ます。

制限容量を変更する場合は、「編集」ボタンをクリックします。  
容量制限の設定画面が表示されます。


## メールプール容量設定

ユーザーadminのメールプール容量の設定を行います。

### ユーザー名 制限容量

admin  MBytes

メールプールに容量制限をかけない

 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

使用できる最大容量の値を「制限容量」に入力します。  
容量制限をかけない場合は、「メールプールに容量制限をかけない」を選択します。

「OK」ボタンをクリックします。

制限容量一覧画面に戻ります。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

### 2. スプール容量制限一括設定

メールアドレスを持つユーザーが使用できる、メールスプール(メールを保存しておける領域)の容量制限を一括設定します。

#### ■ スプール容量の一括制限

スプール制限容量の一括設定

選択したユーザーのメールスプールの制限容量の一括設定を行います。スプールの容量を制限すれば、ユーザーがメールスプールに貯めておくことの出来るメールの最大サイズを制限することが出来ます。HDE Controllerから追加していずれユーザーには、設定が出来ないことがあります。一括容量制限をかけるユーザーの左側をクリックしてユーザーを選択後次に進んでください。

ユーザー検索  表示件数: 10

システムアカウントも表示する 最小表示件数: 1

全1件		
ユーザーの頭文字 <b>a-z</b>		<a href="#">全て表示</a>
ユーザー名	ディスク使用量	制限容量
admin	0 bytes	無制限

スプール制限の容量を設定するユーザーを検索します。

「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。検索結果の表示件数を変更する場合は、「表示件数」の値を変更します。

通常システムアカウントは表示されません。検索結果にシステムアカウントを表示する場合は、「システムアカウントも表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

ユーザーの頭文字から検索する場合は、「ユーザーの頭文字」に表示されている、頭文字の範囲をクリックします。全てのユーザーを一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

ユーザー名、ディスク使用量については、項目名をクリックすることで、表示を、降順／昇順に切り替えることが出来ます。

スプール制限容量を行うユーザーをチェックし、「進む」をクリックします。

容量制限の設定画面が表示されます。

The screenshot shows a settings window titled "スプール容量一括制限" (Mailbox Capacity Restriction). Inside, it says "以下のユーザーのメールスプール容量を設定します。" (Set the mailbox capacity for the following user) and lists the user "admin". Below this, there is a "制限容量" (Limit Capacity) field with a text input box and "MBytes" next to it. A radio button is selected for "メールスプールに容量制限をかけない" (Do not limit mailbox capacity). At the bottom, there are three buttons: "戻る" (Back), "X キャンセル" (Cancel), and "設定する" (Apply).

使用できる最大容量の値を「制限容量」に入力します。  
容量制限をかけない場合は、「メールスプールに容量制限をかけない」を選択します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

### 3. エイリアス設定

メールアカウントに対して、他のメールアドレスへ転送するための設定を行います。

#### ■ エイリアスの設定

#### エイリアス設定

メールアドレスの別名(エイリアス)の追加、削除、編集を行うことができます。

---

#### エイリアス追加

追加エイリアス名  エイリアス値

---

#### エイリアス一覧

エイリアス検索:  最大表示件数:

システム予約エイリアスを表示する

全1件		エイリアスの頭文字 <b>w - w</b>	<a href="#">全て表示</a>
エイリアス名	エイリアス登録数	アクション	
webmaster	1	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

エイリアスにつける名前を、「追加エイリアス名」に入力します。



エイリアス名はアルファベットの小文字で始まり、アルファベットの小文字と「-(ハイフン)」、「\_(アンダバー)」で構成される文字列です。

「エイリアス値」に転送先となる、ローカルユーザーのユーザー名、または、リモートユーザーのメールアドレスを入力します。

複数指定する場合は、「,」カンマで区切って入力します。

「追加」ボタンをクリックして、エイリアスを追加します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

## ■ エイリアスの検索

エイリアスを検索する場合は、「エイリアス検索」に検索キーワードを入力します。  
検索結果の表示件数を変更する場合は、「最大表示件数」の値を変更します。

システム予約エイリアスは通常表示されません。システム予約エイリアスを表示する場合は、「システム予約エイリアスを表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

エイリアスの頭文字から検索する場合は、「エイリアスの頭文字」に表示されている頭文字の範囲をクリックします。

登録されているエイリアスを、全て一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

## 第3章 メールサーバー

### ■ エイリアスの編集

エイリアスを編集する場合は、「編集」ボタンをクリックします。

「エイリアス値」に転送先となる、ローカルユーザーのユーザー名、または、リモートユーザーのメールアドレスを入力します。

複数指定する場合は、改行区切りで入力します。

「OK」ボタンをクリックします。

エイリアス一覧画面に戻ります。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

## 4. 宛先不明メール転送設定

サーバーに存在しないアカウントやエイリアス宛のメールに対して、メールサーバーがどのような振る舞いをするかを設定します。

### ■ 宛先不明メール転送設定

宛先不明メール転送設定

宛先不明メールの転送先アドレスを設定します。

- メッセージを送信者に送り返す
- メッセージを右記のメールアドレスに転送する
- メッセージを削除する

宛先不明メールの転送先を設定します。

宛先不明メールを送信者に送り返す場合は「宛先不明のメッセージを送信者に送り返す」をチェックしてください。

宛先不明メールを特定のメールアドレスに転送する場合は「下記のメールアドレスに転送する」をチェックして、「転送先メールアドレス」に転送先メールアドレスを入力します。

宛先不明メールを削除する場合は「メッセージを削除する」をチェックしてください。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。



メッセージを削除するを選択した場合には、スパムメールに該当しないメールであったとしても、削除されます。

### 5. 送信者認証設定

SPF や DomainKeys といった送信者認証技術を利用し、アドレスを詐称したメールを判定することができます。



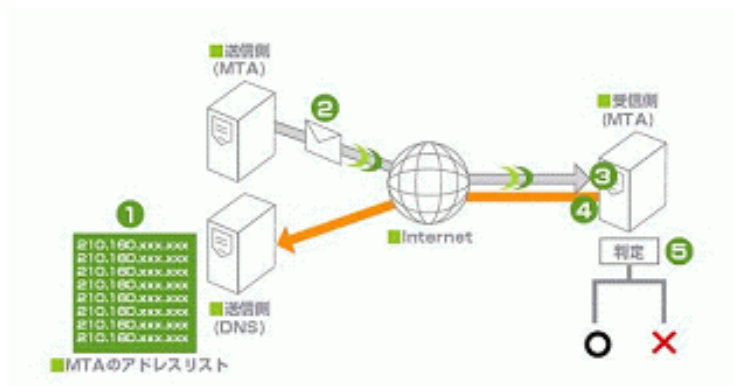
SPF 又は DomainKeys のどちらか一方の送信者認証技術を利用設定することができます。

#### ● SPF とは

差出人のドメインで送信可能な正規メールサーバーの情報を管理し、メール受信時に、正規メールサーバーから送られてきたメールなのか送信元を偽ったメールなのかを判断する技術。フィッシングメールは通常送信元を偽っているため、この技術を利用し、メールの正当性を判別することができます。

SPF の仕組み

1. あらかじめ送信側が自分のドメインの MTA(メールサーバー)のリストを DNS サーバーの特殊なレコード (TXT)に登録しておく(※正確にはリストの参照先とポリシーを登録する)。
2. 送信 MTA は普通にメールを送信する。
3. 受信側 MTA は、送信してきた MTA の IP アドレスを控える。
4. 受信側 MTA が、受け取ったメールアドレスの From:についているドメイン名の DNS に問い合わせ、TXT レコードを受け取る。
5. 受信側 MTA は、TXT レコードをもとに、MTA がそのドメインのものかどうかを確認し、無ければ送信者詐称と判断する。

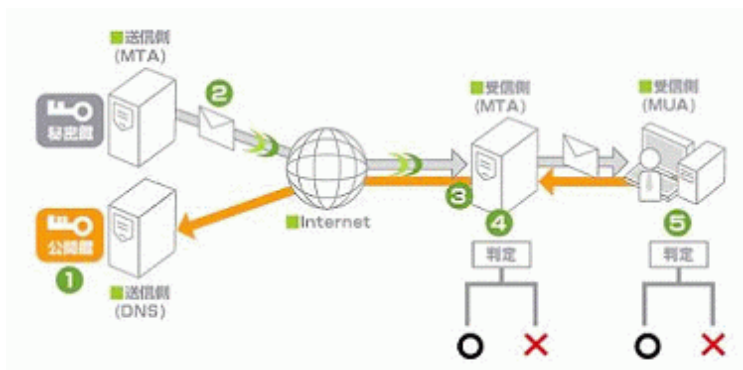


## ● DomainKeys とは

送信されるメールに暗号化された電子署名がなされ、受信側がその内容を確認し、正しいければ受信を許可する技術。フィッシングメールの場合、正しい電子署名を添付できないため、受信時に判別することができます。

DomainKeys の仕組み

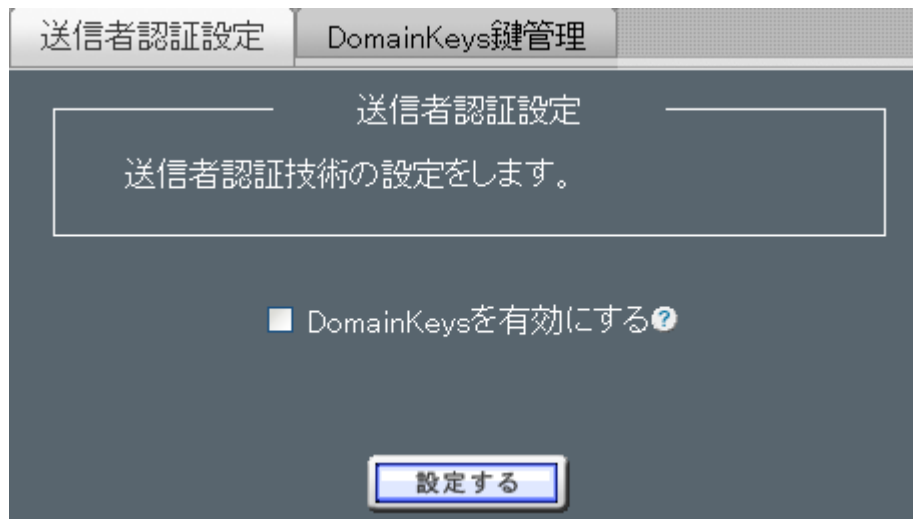
1. あらかじめ送信側が自分のドメインの公開鍵を DNS サーバーの特殊なレコード(TXT)にテキスト形式で登録しておく。
2. 送信 MTA(メールサーバー)はメールを送信する際、秘密鍵と本文で署名を計算し、メールヘッダに埋め込む。
3. 受信側 MTA が、受け取ったメールアドレスの From:についているドメイン名の DNS に問い合わせ、公開鍵を受け取る。
4. 受信側 MTA は、公開鍵で署名を検証し、真正性を確認する。
5. 必ずしもサーバーベースの技術ではないので、MUA(メールソフト)でも真正性の確認をすることができる。



## 第3章 メールサーバー

### ■ 送信者認証設定

送信者認証技術の利用設定を行います。



#### ● SPF を利用する場合

管理者により SPF が設定されている場合、利用することができます。ここで設定することはありません。



SPF を有効にすると、受信したメールに Received-SPF ヘッダが付加されます。



自サーバーのドメインが正しいものと証明するには、DNS サーバーのテキストフィールドに以下の SPF 情報を追加してください。(例: 自ドメインが example.com の場合)

```
example.com. IN TXT "v=spf1 a -all"
```

- DomainKeys を利用する場合

「DomainKeys を有効にする」にチェックを入れ、設定ボタンを押して下さい。

このドメインのマスターネームサーバーになっていれば、設定ボタンを押した時に、秘密鍵・公開鍵が生成され、DNS に DomainKeys 情報が自動的に登録されます。



このドメインのマスターネームサーバーになっていなければ、Domainkeys 鍵管理画面で公開鍵をダウンロードして、DNS サーバーに以下のようなテキストフィールドを追加してください。(例: example.com、公開鍵部は先頭・末尾行と改行を削除してください。)

```
default._domainkey.example.com. IN TXT "t=y; k=rsa; p=公開鍵"
```

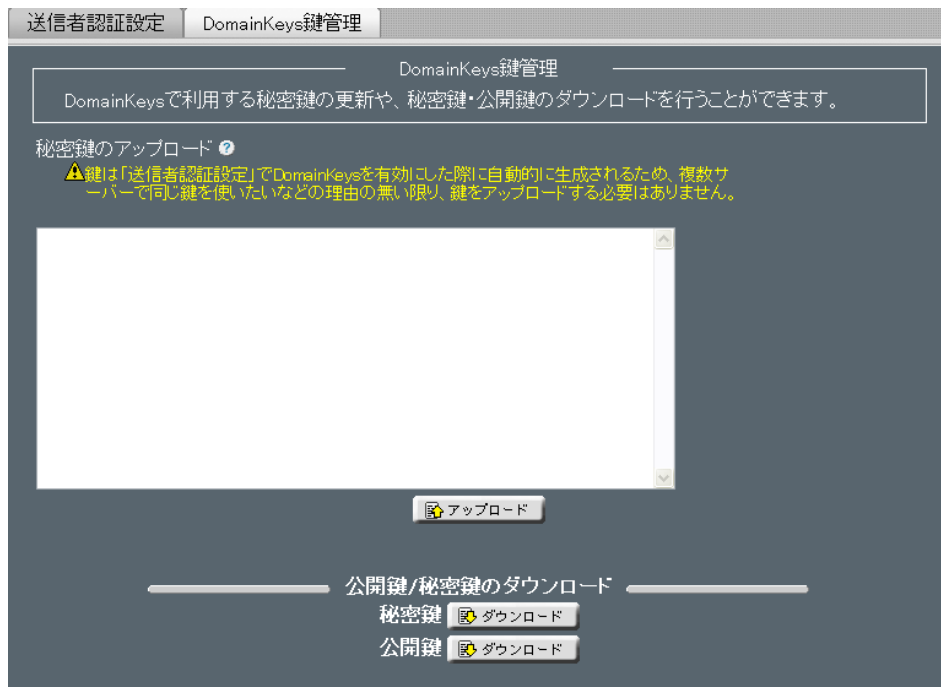


DomainKeys を有効にすると、受信したメールに DomainKey-Status ヘッダが、送信したメールに DomainKey-Signature ヘッダが付加されます。ただし、POP before SMTP や SMTP AUTH を利用してメールを送信した場合、「アクセス制御」で追加した IP アドレスに対してのみ DomainKey-Signature ヘッダが付加されます。また「アクセス制御」に該当しない IP アドレスから送信したメールには DomainKey-Status ヘッダが付加されます。

## 第3章 メールサーバー

### ■ DomainKeys鍵管理

DomainKeys で利用する秘密鍵のアップロードと、登録されている秘密鍵・公開鍵のダウンロードを行うことができます。



#### ● 秘密鍵のアップロード

RSA 秘密鍵の平文テキスト(RSA/SHA-1, 1024 bit)をテキストエリアに貼り付け、「アップロード」ボタンをクリックしてください。鍵のアップロード後、公開鍵の生成、DNS 情報の書き換えを行います。



鍵は「送信者認証設定」で DomainKeys を有効にした際に自動的に生成されるため、複数サーバーで同じ鍵を使いたいなどの理由の無い限り、鍵をアップロードする必要はありません。

#### ● 秘密鍵・公開鍵のダウンロード

現在登録されている秘密鍵・公開鍵をダウンロードすることができます。

# HDE Controller 5

## 第4章 メーリングリスト

## 第4章 メーリングリスト

### 1. メーリングリスト管理

メーリングリストとは、特定のアドレスにメールを送信することで、そこに登録されているメンバーに自動的にメールを送信するサービスです。

HDE Controller ではメーリングリスト管理ソフトウェアとして majordomo を用いて管理、設定を行います。

既に追加されたメーリングリストの設定内容やメンバーの追加・削除を行うには、「メーリングリスト管理」をクリックします。

メーリングリスト管理

ここではメーリングリストの設定変更を行うことができます。  
設定を変更したい場合は、「編集」ボタンをクリックしてください。

メーリングリスト検索?  表示件数: 10

最低表示件数: 1

全1件 頭文字 t-t <span style="float: right;">全て表示</span>	名前	コメント	登録数	投稿数	アクション	メンバー一覧
	test		1	1	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="ダウンロード"/>	

⚠️ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

メーリングリストが一覧で表示されますので、設定変更したいメーリングリストの「編集」ボタンをクリックします。

メーリングリストを削除するには、メーリングリストが一覧画面において、削除したいメーリングリストの「削除」ボタンをクリックします。

その後、「設定する」ボタンをクリックして削除を完了させます。

また、「ダウンロード」ボタンをクリックすると、対象のメーリングリストメンバーの一覧を CSV 形式のファイルでダウンロードします。

「編集」ボタンをクリックし、表示された画面にて、現在の内容の編集を行います。

## ■ メンバー設定

メンバーの変更画面が表示され、メーリングリストのメンバーの追加・削除を行うことができます。

The screenshot shows a dialog box with three tabs at the top: 'メンバー設定' (Member Settings), 'メーリングリスト設定' (Mailing List Settings), and 'メッセージ設定' (Message Settings). The 'メンバー設定' tab is selected. The main area of the dialog is titled 'メーリングリスト「test」のメンバー設定' (Member Settings for Mailing List 'test'). Below the title, there is a text box containing the instruction: '一括登録するメンバーを手入力、あるいはコピー&ペーストで指定します。' (Specify members to be registered in bulk by manual entry, copy & paste, etc.). A yellow warning icon is followed by the instruction: '一行に一つずつのメールアドレスを入力してください。' (Enter one email address per line). Below this is a large text input area containing the text 'sample@example.jp'. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'OK' and 'Cancel'. Below the buttons, another yellow warning icon is followed by the instruction: '設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。' (To reflect changes in the settings file, press the OK button above, and then click the 'Settings' button on the page that appears next).

1つのメールアドレスにつき、1行で入力してください。

入力後に、「OK」ボタンをクリックします。

## 第4章 メーリングリスト

### ■ メーリングリスト設定

メーリングリストの設定内容を変更するには、「メーリングリスト設定」タブをクリックします。

メンバー設定	メーリングリスト設定	メッセージ設定
メーリングリスト設定		
メーリングリスト名	<input type="text" value="test@example.jp"/>	
コメント	<input type="text"/>	
管理者メールアドレス	<input type="text" value="sample@example.jp"/>	
管理用パスワード	<input type="password"/> (再入力) <input type="password"/>	<input type="checkbox"/> パスワードを変更する。
投稿者制限	<input type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし	
返信先メールアドレス	<input type="text" value="test@example.jp"/> <small>⚠️ 空白の場合、投稿者のメールアドレスになります。</small>	
最大メッセージサイズ	<input type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで	
アーカイブ	<input type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する	
件名プレフィックス	<input type="text" value="test"/> <input checked="" type="checkbox"/> 通し番号を追加する	
通し番号開始値	<input type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text" value="1"/>	
コマンドメールの設定		
参加方法	<input type="text" value="本人のみ"/> <input type="checkbox"/> 参加確認を行う	
退会方法	<input type="text" value="本人のみ"/>	
参加者一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>	
参加リスト一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/>		
<small>⚠️ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。</small>		


変更可能な項目のそれぞれの説明は、「メーリングリスト作成」の説明をご参照ください。変更後に、「OK」ボタンをクリックします。


## ■ メッセージ設定


メーリングリストへの投稿メールに特定のメッセージを自動的に付加したい場合は、「メッセージ設定」タブをクリックして付加メッセージを設定します。

メンバー設定    メーリングリスト設定    **メッセージ設定**

メーリングリスト「test」の各種メッセージの設定  
投稿メールに付加するメッセージを編集することができます。

ヘッダーメッセージ 

フッターメッセージ 

 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

## 第4章 メールリスト

- ヘッダーメッセージ

投稿メールのメール本文の先頭に自動的に付加されるメッセージを設定します。

- フッターメッセージ

投稿メールのメール本文の末尾に自動的に付加されるメッセージを設定します。

設定後、「OK」ボタンをクリックします。その後、表示される画面の「設定する」ボタンをクリックすることで、変更が反映されます。

## 2. メーリングリスト作成

### ■ メーリングリストの作成

メーリングリストを作成する方法について説明します。

メーリングリスト作成	
メーリングリスト名	<input type="text" value="test"/> @example.jp
コメント	<input type="text"/>
管理者メールアドレス	<input type="text" value="sample@example.jp"/>
	<input type="checkbox"/> パスワードを変更する。
管理用パスワード	<input type="text"/> (再入力) <input type="text"/>
投稿者制限	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし
返信先メールアドレス	<input type="text" value="test@example.jp"/> <small>⚠ 空白の場合、投稿者のメールアドレスになります。</small>
最大メッセージサイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで
アーカイブ	<input checked="" type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する
件名プレフィックス	<input type="text" value="test"/> <input checked="" type="checkbox"/> 通し番号を追加する
通し番号開始値	<input type="radio"/> 変更しない <input checked="" type="radio"/> 変更する <input type="text" value="1"/>
コマンドメールの設定	
参加方法	<input type="text" value="本人のみ"/> <input type="checkbox"/> 参加確認を行う
退会方法	<input type="text" value="本人のみ"/>
参加者一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>
参加リスト一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>

## 第4章 メーリングリスト

あらかじめ、「テンプレート設定」でテンプレートを作成している場合は、その設定値が初期値として画面上に表示されます。

「メーリングリスト作成」画面では、下記の項目を設定することができます。

- **メーリングリスト名**

作成したいメーリングリストの名前を入力します。  
既存のメーリングリスト名、ユーザーアカウント名、または半角英数文字以外を指定することはできません。

- **コメント**

このメーリングリストの簡単な説明を設定します。  
全角英数字や半角カタカナを指定した場合、それぞれ半角英数字、全角カタカナに変更され設定されます。  
この項目は、できるだけ半角英数字のみで設定してください。

- **管理者メールアドレス**

このメーリングリストの管理者のメールアドレスを設定します。参加や退会の承認が必要なメーリングリストを作成した場合は、subscribe/unsubscribe コマンドによる申し込みをすると、まずこのメールアドレスに承認確認のメールが送られます。

- **管理用パスワード**

コマンドメールによる承認操作などに利用されるパスワードです。

- **投稿者制限**

このメーリングリストに投稿を許可するユーザーを設定します。  
通常は、「メンバーのみ」を選択してください。  
「管理者のみ」を選択するとニュース配信型のリストを作成することができます。

- **返信先メールアドレス**

このメーリングリストの投稿メールにつける Reply-To ヘッダのアドレスを設定します。  
通常は、メーリングリストと同じアドレスを指定します。  
空白で設定した場合は、投稿メールの送信者になります。

- **最大メッセージサイズ**

このメーリングリストの投稿メールのメッセージサイズを制限します。  
制限したい場合は、そのサイズをバイトで指定してください。

## ● アーカイブ

このメーリングリストの投稿メールのメッセージアーカイブを保存するかどうかを設定します。アーカイブを保存すると、コマンドメールで過去のメッセージを取り寄せることが可能ですが、トラフィックの多いメーリングリストの場合はディスクを消費しますので、用途に合わせて設定してください。

## ● 件名プレフィックス

投稿メールの件名の先頭に付与する文字列を指定します。

例えば、testml を指定すると [testml] という文字列が追加されます。

「通し番号を追加する」を選択すると、[testml:00010] のように件名プレフィックスの後ろに通し番号が追加されます。

## ● 通し番号開始値

投稿メールを処理するごとに加算される通し番号の開始値を 0 から 99999 の範囲で指定してください。通常、変更する必要はありません。

作成時「変更しない」を選択すると、1 が指定されたものとみなされます。

## ■ コマンドメールの動作

以下の設定は、コマンドメールの動作を特定します。メーリングリストの用途に合わせて、適切に設定してください。

## ● 参加方法

subscribe コマンドによるリスト参加方法の設定を行います。

「本人のみ」を選択した場合、コマンドメール送信者のアドレスのみ参加できます。  
「管理者の承認が必要」を選択した場合、管理者の承認を受けた後参加できます。  
「制限なし」を選択した場合、他人のアドレスを無条件で参加させることができます。  
「参加確認を行う」を選択すると、参加前、登録メールアドレスに参加確認メールが送信されます。



subscribe による参加の方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ドメイン名宛てに送信します。  
subscribe メーリングリスト名 [登録メールアドレス]

## 第4章 メールリスト

### ● 退会方法

unsubscribe コマンドによるメールリスト退会方法の設定を行います。

「本人のみ」を選択した場合、コマンドメール送信者のアドレスのみ退会できます。

「管理者の承認が必要」を選択した場合、管理者の承認を受けた後退会できます。

「制限なし」を選択した場合、他人のアドレスを無条件で退会させることができます。



unsubscribe による退会の方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ドメイン名宛てに送信します。

unsubscribe メールリスト名 [登録メールアドレス]

### ● 参加者一覧取得

who コマンドによる参加者一覧取得の制限を設定します。

「可能」を選択した場合、誰もがこのメールリストのメンバーを検索できます。

「不可」を選択した場合、誰にもこのメールリストのメンバーを検索させません。

「メンバーのみ」を選択した場合、メンバーのみこのメールリストのメンバーを検索できます。



who によるメンバー一覧を取り寄せの方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ドメイン名宛てに送信します。

who メールリスト名

### ● 参加リスト一覧取得

which コマンドによる参加リスト一覧取得の制限を設定します。

「可能」を選択した場合、誰もがこのメールリスト名を検索できます。

「不可」を選択した場合、誰にもこのメールリスト名を検索させません。

「メンバーのみ」を選択した場合、メンバーのみこのメールリスト名を検索できます。

但し、「投稿者制限」を「管理者のみ」にした場合は、検索の対象となりません。



which による参加メールリストの取り寄せの方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ドメイン名宛てに送信します。

which [メールアドレス]

設定が終わりましたら、「進む」ボタンをクリックし「メンバー設定」画面に移ります。

メンバー設定

一括登録するメンバーを手入力、あるいはコピー&ペーストで指定します。

**⚠** 一行に一つずつのメールアドレスを入力してください。

sample@example.jp

戻る   **X** キャンセル   設定する

「メンバー設定」画面では、このメンバーリストに参加させたいメンバーのメールアドレスを設定します。

1つのメールアドレスにつき、1行で入力してください。

メンバーリスト作成に必要な設定は以上です。設定が問題なければ、「設定する」ボタンをクリックして設定をファイルに反映させます。

### 3. テンプレート設定

ここでは、新規にメールングリストを作成する際に初期値として利用するテンプレートを設定します。  
テンプレートの設定を行うには、「テンプレート設定」をクリックします。

#### テンプレート設定

メールングリストを作成する際に利用するテンプレートを設定します。

投稿者制限	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし
最大メッセージサイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで
アーカイブ	<input checked="" type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する

#### コマンドメールの設定

参加方法	<input type="text" value="本人のみ"/> <input type="checkbox"/> 参加確認を行う
退会方法	<input type="text" value="本人のみ"/>
参加者一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>
参加リスト一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>

設定項目のそれぞれの説明は、「メールングリスト作成」の説明をご覧ください。

設定後、「設定する」ボタンをクリックし設定をファイルに反映させます。

# HDE Controller 5

---

## 第 5 章 DNSサーバー

## 1. レコード管理

既に設定されているマスターゾーンに、新たなレコードを追加したり、既存のレコードを削除したりすることができます。

ゾーン「example.jp」のレコード管理

このゾーンに新規レコードを追加したり、レコードの削除を行うことができます。

レコード追加

レコード?	TTL?	レコード種別?	レコードの値?	
<input type="text" value="example.jp"/>	<input type="text"/>	IN A	<input type="text"/>	

レコードリスト

レコード	TTL	レコード種別	レコードの値	
example.jp	86400	IN NS	lc5.example.jp	
example.jp	86400	IN MX 10	mail.example.jp	
example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	
lc5.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	
www.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	
mail.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	
ftp.example.jp	86400	IN A	192.168.166.84	

✖ キャンセル 設定する

レコード管理画面では、レコードの追加と削除を行います。

新規レコードの追加を行うには、「レコード追加」の「レコード」「レコード種別」「レコードの値」に追加したいレ

コードの情報を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

なお、「レコード種別」については、正引きゾーンの場合、NS レコード/A レコード/MX レコード/CNAME レコード/TXT レコードが選択でき、逆引きゾーンの場合、NS レコード/PTR レコード/CNAME レコード/TXT レコードが選択できません。

「レコードの値」において末尾にドット「.」をつけず指定をすると、ネームサーバーのゾーンファイル上、末尾に「.ゾーン名」が補完され解釈されます。



例えば、ゾーン名「0.168.192.in-addr.arpa」において、「レコードの値」に「host1.example.com」を指定しますと、「host1.example.com.0.168.192.in-addr.arpa」と解釈されてしまいます。このため、「レコードの値」にホスト名を指定する場合、末尾にドット「.」のついた FQDN で指定するようにしてください。上記の例では、「host1.example.com.」と指定する必要があります。



レコード種別で TXT を選択したときは、TXT レコード問い合わせで返答したい文字列を入力します。日本語等のマルチバイト文字列を含めることはできません。

TTL には、このレコードの有効期限を入力します。省略時は、「DNS サーバー」-「ドメイン情報管理」で該当ドメイン編集画面の「レコードキャッシュ保持期間(秒)」で指定した値が適用されます。

レコードの削除を行うには、「レコードリスト」中の該当レコードの「削除」ボタンをクリックします。削除を取り消したい場合は、「取消」ボタンをクリックします。

全ての設定が終わったら、「設定する」ボタンをクリックします。



レコードリストの一覧表のヘッダーフィールド(レコード、TTL、レコード種別、レコードの値)をクリックすると、クリックした項目でソートすることができます。



# HDE Controller 5

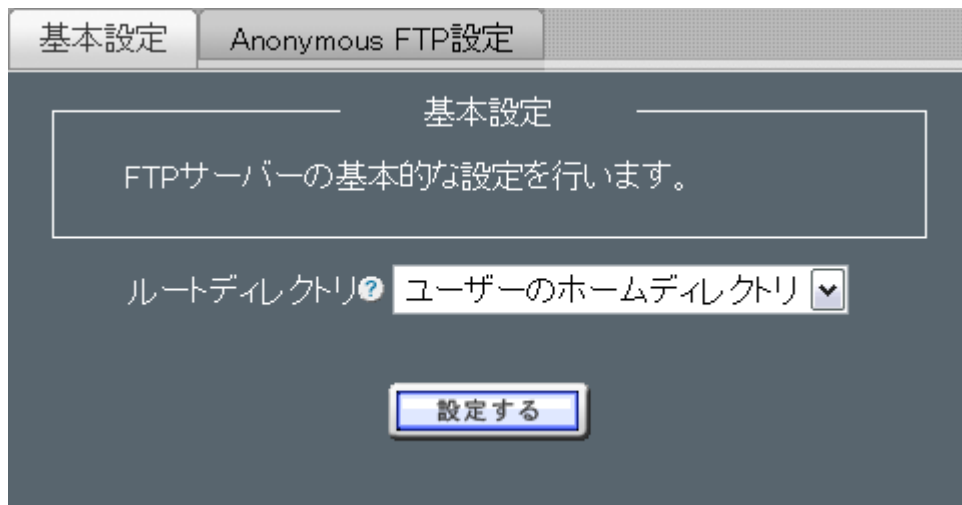
---

## 第 6 章 FTPサーバー

### 1. 基本設定

FTP サーバーの基本設定を行います。

#### ■ 基本設定

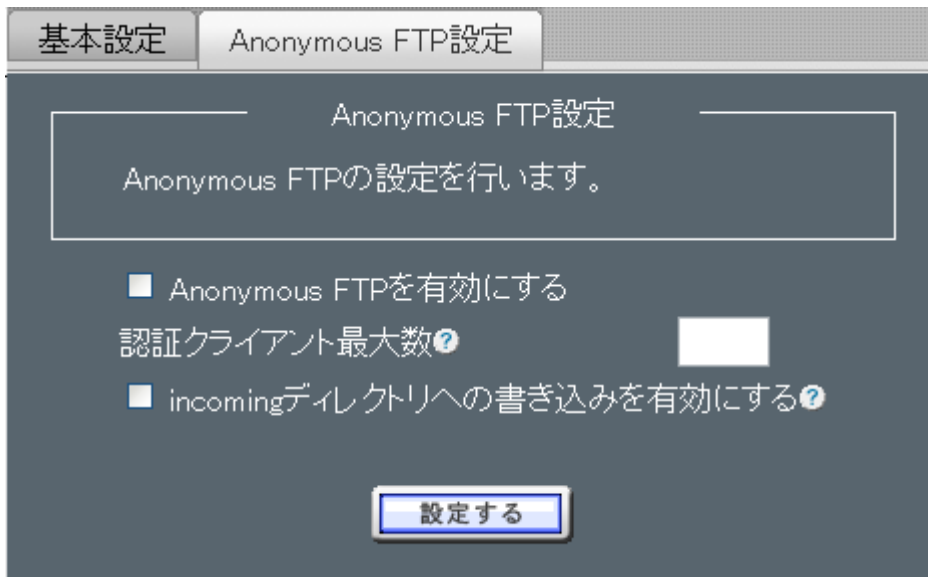


The screenshot shows a web-based configuration interface for an FTP server. At the top, there are two tabs: '基本設定' (Basic Settings) and 'Anonymous FTP設定' (Anonymous FTP Settings). The '基本設定' tab is active. Below the tabs, the title '基本設定' is centered. A text box contains the instruction: 'FTPサーバーの基本的な設定を行います。' (Perform basic settings for the FTP server). Below this, there are two input fields: 'ルートディレクトリ?' (Root directory?) and 'ユーザーのホームディレクトリ' (User's home directory). The 'ユーザーのホームディレクトリ' field has a dropdown arrow. At the bottom, there is a blue button labeled '設定する' (Apply/Save).

バーチャルドメインのユーザーが FTP ログインした時のルートディレクトリを選択します。

ユーザーのホームディレクトリまたは Web のドキュメントルート (~ / public\_html) を選択します。  
「設定する」ボタンをクリックして、終了します。

## ■ Anonymous FTPの設定



基本設定    Anonymous FTP設定

Anonymous FTP設定

Anonymous FTPの設定を行います。

Anonymous FTPを有効にする

認証クライアント最大数?

incomingディレクトリへの書き込みを有効にする?

設定する

匿名ログインを許可する Anonymous FTP について設定します。

Anonymous FTP を有効にする場合は、「Anonymous FTP を有効にする」を選択します。Anonymous FTP のログイン数を制限する場合は、「認証クライアント最大数」にログイン最大数を入力します。

ログインした匿名ユーザーに incoming ディレクトリへのファイルの書き込み(アップロード)を許可する場合は、「incoming ディレクトリへの書き込みを有効にする」を選択します。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。



# HDE Controller 5

---

## 第 7 章 ディスク使用容量制限

### 1. 容量制限一覧

容量制限を適用しているパーティションから、ユーザー毎の容量制限を行います。


#### ■ 容量制限の一覧



容量制限を設定するパーティションを選択します。

「選択」ボタンをクリックして次の設定へ進みます。

容量制限を設定するディスクパーティションの選択

パーティション別にユーザー毎の容量制限を行います。設定するパーティション名の選択ボタンを押して次の画面に移動してください




 「パーティションの設定」において容量制限を課す設定を行っていないパーティションについては表示されません。

/home [ユーザーのホームディレクトリ]	
/var [メールや他のアプリケーションデータのスプールの保存領域]	


ユーザー毎の容量制限編集を行います。

### ユーザーQUOTAの編集


各アカウントの容量制限を個別に設定します。  
設定を反映させるには、画面下部の「設定する」ボタンを押してください。  
対象ディスクパーティション: /home

ユーザー	容量制限値	現在の使用状況	
uid / アカウント名	サイズ / レード数	使用量 / 比率 / 使用ノード数 / 比率	
514 hoge@example.jp	制限無し / 制限無し	8 KB / - 2 node / -	
511 ftp@example.jp	制限無し / 制限無し	16 KB / - 2 node / -	
510 admin@example.jp	制限無し / 制限無し	268 KB / - 14 node / -	

合計で 3 個の該当アカウントが存在します

一度に表示する件数  

システムアカウントも含めて表示



一度に表示する件数を増やす場合は、「一度に表示する件数」の数値を変更し、「表示」ボタンをクリックします。

容量制限を編集するユーザーの「編集」ボタンをクリックします。

容量制限の設定画面が表示されます。

## 第7章 ディスク使用容量制限

ユーザー名: admin@example.jp

詳細な容量制限を行います。

このドメインで使用可能なディスク容量は 5000 MB です。

	サイズ	iノード <sup>?</sup>
現在の使用量	276 KB	14 node
容量制限(QUOTA)値 <sup>?</sup>	<input type="text"/> MBytes	<input type="text"/>
超過許容サイズ <sup>?</sup>	<input type="text"/> MBytes	<input type="text"/>

**⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。**

「容量制限(QUOTA)値」「超過許容サイズ」、それぞれについて、サイズ、iノードによる容量制限を設定します。「OK」をクリックして、「ユーザーQUOTAの編集」画面に戻ります。

超過許容サイズは、容量制限値を一時的に超えて使用することを許可する最大サイズとなります。必ず容量制限値より大きな値を設定して下さい。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

## 2. 容量制限一括設定


容量制限の設定を一括して行います。



### ■ 容量制限の一覧

容量制限を設定するパーティションを選択します。

容量制限を設定するディスクパーティションの選択

パーティション別にユーザー毎の容量制限を行います。設定するパーティション名の選択ボタンを押して次の画面に移動してください

 「パーティションの設定」において容量制限を課す設定を行っていないパーティションについては表示されません。

<code>/home</code> [ユーザーのホームディレクトリ]	
<code>/var</code> [メールや他のアプリケーションデータのスプールの保存領域]	

「選択」ボタンをクリックして次の設定へ進みます。

アカウントの選択画面が表示されます。

## 第7章 ディスク使用容量制限

### アカウントの選択

複数のユーザーの容量制限を一括で行います。容量制限を適用したいアカウントの左端のボタンをチェックして選択してから次の画面に移動してください。

対象ディスクパーティション: /home

以下からデータを抽出して表示させることができます。

データの抽出  が  を含む

ユーザー		容量制限値		現在の使用状況			
<small>uid</small>	<small>アカウント名</small>	<small>サイズ</small>	<small>inode数</small>	<small>使用量</small>	<small>比率</small>	<small>使用inode数</small>	<small>比率</small>
<input type="checkbox"/>	511 ftp@example.jp	制限無し /	制限無し	16 KB /	-	2 node /	-
<input type="checkbox"/>	510 admin@example.jp	制限無し /	制限無し	276 KB /	-	14 node /	-

合計で 2 個の該当アカウントが存在します

一度に表示する件数

システムアカウントも含めて表示

アカウントを検索する場合は、検索条件として、「データの抽出」をする場合は、メニューから抽出内容を選択し、検索キーワードを入力して、検索の一致形式を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

検索結果の表示件数を変更する場合は、「一度に表示する件数」の値を変更し、「表示」ボタンをクリックします。容量制限を設定するユーザーを選択し、「進む」ボタンをクリックして、次の設定へ進みます。

容量制限の設定画面が表示されます。

選択したアカウントへの容量制限値の適用

合計で 1 個のアカウントが選択されました。  
この選択されたアカウントに対して容量制限を適用します。  
対象ディスクパーティション: `/home`

このドメインで使用可能なディスク容量は 5000 MB です。

	サイズ	iノード <sup>?</sup>
現在の使用量	0 KB	0 node
容量制限(QUOTA)値 <sup>?</sup>	<input type="text"/> MBytes	<input type="text"/>
超過許容サイズ <sup>?</sup>	<input type="text"/> MBytes	<input type="text"/>

戻る ✖ キャンセル 設定する

「容量制限(QUOTA)値」「超過許容サイズ」、それぞれについて、サイズ、iノードによる容量制限を設定します。

超過許容サイズは、容量制限値を一時的に超えて使用することを許可する最大サイズとなります。

必ず容量制限値より大きな値を設定して下さい。



# HDE Controller 5

---

## 第 8 章 アカウント

## 第8章 アカウント

### 1. ユーザー管理

ユーザーアカウントを編集、削除します。

#### ■ ユーザーの検索

ユーザーアカウントを検索します。

The screenshot shows a user management interface. At the top, there is a search bar labeled 'ユーザー検索?' with a search icon and a '検索' button. To the right, '表示件数: 10' is displayed. Below the search bar, there is a checkbox for 'システムアカウントを表示する' and '最小表示件数: 1'. A table below shows search results for '全2件 ユーザーの頭文字 a-f'. The table has columns for '状態?', 'ユーザー名', '説明', '詳細', and '操作'. Two users are listed: 'admin' and 'ftp'. The 'admin' user has a '編集' button, and the 'ftp' user has '編集' and '削除' buttons. A '全て削除' button is also present. A warning message at the bottom states: '⚠️ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。' Below the message is a '設定する' button.

状態?	ユーザー名	説明	詳細	操作
	admin		編集	
	ftp		編集	削除

⚠️ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定する

「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。




一度に表示する検索結果の最大件数を変更する場合は「表示件数」の値を変更します。

「検索」ボタンをクリックして検索を実行します。又、ユーザー名の頭文字で検索する場合は「ユーザーの頭文字」から選択します。

全てのユーザーを表示させる場合は「全て表示」をクリックします。

## ■ ログイン/メール/FTPの許可状況

ユーザーのログイン/メール/FTP の許可状況が表示されます。なお、バーチャルドメインとしてメール/FTP が許可されていない場合、メール/FTP の許可状況そのものが表示されません。

全 2 件 ユーザーの頭文字 <u>a - f</u> <span style="float: right;">全て表示</span>				
状態	ユーザー名	説明	詳細	
  	admin		 編集	 全て削除
  	ftp		 編集	 削除

ログイン/メール/FTP の許可状況を変更する場合は、「編集」ボタンをクリックして該当項目を変更します。詳細は後述のユーザー設定変更を参照ください。

## ■ ユーザー設定の編集

アカウントを編集する場合は、「編集」ボタンをクリックします。  
アカウント編集画面が表示され、以下の項目について設定ができます。

### ● ユーザー設定変更

ユーザーアカウントの基本的な設定を行います。

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
--------	---------	-------	------

ユーザー設定変更

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp	
パスワード	<input type="checkbox"/> パスワードを変更する	入力は「*(アスタリスク)」または「●(黒丸)」で表示されます。
パスワード (再入力)	<input type="text"/>	
追加情報(本名など)	<input type="text"/>	(空欄でも可)

**⚠** 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下の「設定する」ボタンをクリックしてください。



## 第8章 アカウント

パスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」を選択し、「パスワード」にパスワードを入力します。必要に応じて「追加情報(本名など)」を入力します。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### ● メール転送設定

配送されたメールを、他のメールアドレスへ転送するための設定を行います。

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
メールの転送に関する設定			
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp		
メールの転送先	<input checked="" type="checkbox"/> メールを転送を行う場合に、このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す  メール転送先の設定は慎重に行ってください。メールアドレスが間違っていると、メールが届かなくなるだけでなく、他人に迷惑をかける恐れがあります。		
<input checked="" type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/>			
 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。			

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合、この設定画面は表示されません。

転送先となるアドレスを「メールの転送先」に入力します。

複数のメールアドレスを指定する場合は、半角スペースか、カンマで区切るか、1 つずつ改行して入力することで登録できます。

転送するメールを、サーバーに保存しておきたい場合は、「メールの転送を行う場合に、このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す」を選択します。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## ● メール設定

メールパスワードなどメールの基本的な設定を行います。

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
メールについての設定			
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp		
	<input type="checkbox"/> パスワードを変更する。		
パスワード?	<input type="password"/>		
(再入力)	<input type="password"/>		
メール認証?	<input checked="" type="radio"/> POP及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> 利用不可		
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/>			
<p><b>⚠</b> 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。</p>			

ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合、この設定画面は表示されません。

パスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」を選択し、「パスワード」にパスワードを入力します。

メールを利用不可に変更する場合は、「利用不可」を選択します。

メールの認証をAPOPだけに限定してメールを利用可能にする場合は、メールで「APOPのみで認証」を、POPでもAPOPでもメールを利用可能にする場合は、「POP及びAPOPで認証」を選択します。


この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 第8章 アカウント

### ● 制限設定

シェルやFTPの利用、アカウントの有効期限、ホーム領域やメールスプール領域の制限設定を行います。

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
<b>制限項目</b>			
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp		
シェル	<input type="radio"/> /bin/bash <input type="button" value="v"/> <input checked="" type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>		
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可		
アカウント有効期限	<input type="radio"/> 無制限 <input checked="" type="radio"/> 2010 年 4 月 1 日		
ホーム領域制限	警告容量 <input type="text" value="100"/> MBytes 最大容量 <input type="text" value="200"/> MBytes		
メールスプール領域制限	<input type="text" value="100"/> MBytes		
<input checked="" type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/>			
 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。			

シェルの利用を許可する場合は、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

FTPの利用を許可する場合はFTPで「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとしてFTPサーバーが選択されていない場合は設定できません(FTPは利用できません)。

アカウント有効期限を設定する場合は有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。



アカウント有効期限を過ぎたとしても、メールの送受信だけは可能です。

ホーム領域制限を設定する場合は、「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。



ドメインに最大ディスク容量の制限が設定されている場合、この制限を越えることはできません。

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。



ドメインにメールスプール容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## ■ ユーザーの削除

既存のユーザーを削除します。

ユーザー一覧画面で「削除」ボタンをクリックします。削除を取りやめたい場合はもう一度ボタン(取り消しボタン)をクリックします。

画面に表示されているユーザーを全て削除する場合は、「全て削除」ボタンをクリックします。取りやめたい場合は削除と同様にもう一度ボタン(取り消しボタン)をクリックします。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### 2. ユーザー追加

新規にユーザーを追加します。ユーザー追加画面には、テンプレート設定で指定した値が初期値として表示されます。あらかじめテンプレート設定を行うことによりユーザー追加がスムーズに行えます。テンプレート設定を行っていない場合は先にテンプレート設定を行うことをお勧めします。

#### ■ ユーザーの追加

追加するユーザー情報の設定を行います。

ユーザー追加

あと998人のユーザーを追加することができます。

ユーザー名(ログイン名) <span style="font-size: small;">?</span>	<input type="text" value=""/> @example.jp
パスワード <span style="font-size: small;">?</span>	<input type="password"/>
パスワード(再入力)	<input type="password"/>
追加情報(本名など)	<input type="text"/>
シェル <span style="font-size: small;">?</span>	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <span style="font-size: small;">▼</span> <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
メール認証 <span style="font-size: small;">?</span>	<input checked="" type="radio"/> POP及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> どちらも認証不可
FTP <span style="font-size: small;">?</span>	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限 <span style="font-size: small;">?</span>	<input type="radio"/> 無制限 <input checked="" type="radio"/> 2010 年 4 月 1 日
ホーム領域制限 <span style="font-size: small;">?</span>	容量制限は利用できません。
メールスプール領域制限 <span style="font-size: small;">?</span>	<input type="text"/> MBytes

「ユーザー名(ログイン名)」、「パスワード」を入力します。

必要に応じて「追加情報(本名など)」を入力します。

シェルの利用を許可する場合は、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルのフルパスを入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

メールの認証を APOP だけに限定してメールの利用を許可する場合はメールで「APOP のみで認証」を、POP でも APOP でもメールの利用を許可する場合は「POP 及び APOP で認証」を選択します。

メールの利用を許可しない場合は、メールで「利用不可」を選択します。  
なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。

FTP の利用を許可する場合は FTP で「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。



サーバー管理者よりシェルの制限が行われている場合、シェルは利用できません。

なお、ドメインで提供するサービスとして FTP サーバーが選択されていない場合は選択できません(FTP は利用できません)。

アカウント有効期限を設定する場合は有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。



アカウント有効期限を過ぎたとしても、メールの送受信だけは可能です。

ホーム領域制限を設定する場合は、「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。



ドメインにディスク容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。



ドメインにディスク容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。


### 3. CSV一括ユーザー登録


ユーザーを一括して登録します。


#### ■ ユーザーの一括追加

ユーザーを一括して登録します。

ファイルをアップロードしてユーザーを追加する

一括登録するユーザーの情報をテキストファイルに保存し、そのファイルをアップロードすることでユーザーを追加します。  
ファイルの書き方について: 


 ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、既に存在するユーザーを追加しようとしたときには、エラー内容を表示警告ウィンドウが表示されます。この場合、ユーザー追加は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。


 「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない場合があります。

■ 平文パスワードのかわりに、ハッシュ化パスワードを指定する(※APOPはパスワードを設定しなおすまで使用できなくなります)

---

手動でまとめてユーザーを追加する

一括登録するユーザーを手入力、あるいはコピー＆ペーストで指定します。  
テキストの書き方について: 

 ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、既に存在するユーザーを追加しようとしたときには、エラー内容を表示警告ウィンドウが表示されます。この場合、ユーザー追加は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

■ 平文パスワードのかわりに、ハッシュ化パスワードを指定する(※APOPはパスワードを設定しなおすまで使用できなくなります)

ユーザーリストのファイルをアップロードする場合は、「ファイルをアップロードしてユーザーを追加する」に、ファイルのパスを入力するか、「参照」ボタンをクリックし、ファイルの指定ウィンドウからファイルの場所を指定します。

手入力の場合は「手動でまとめてユーザーを追加する」にユーザー情報を入力します。

#### ● 一括管理の入力形式

1. ユーザー名(必須)
2. 平文パスワード、省略時はランダムで決定されます。(追加後に表示されます。)
3. 本名などの付加情報
4. アカウントが所属するグループ名(無視されます。)
5. ログインシェル
6. 転送メールアドレス
7. メールパスワード
8. メール設定(-1:不可/0:POPとAPOP/1:APOP/2:POP)
9. ユーザーの有効期限(YYYY/MM/DD)
10. FTP ログインの可否(0:可/1:不可)
11. メールプール制限容量(Bytes)
12. ディスク制限容量(kB)
13. iノード制限数
14. ディスク超過許容量(kB)
15. iノード超過許容数



一括登録時に指定されたメールプール容量が 1MByte 未満の値だった場合、ユーザー管理の編集画面より制限設定を行いますと設定値が 1MByte へ切り上げられます。



ひらがなや漢字など、文字コードはシステムにあわせる必要があります。

「追加」ボタンをクリックして登録します。



半角カナ/全角文字がファイル名、またはパスに含まれる場合、アップロードが正常に実行できないことがあります。

### 4. CSV一括ユーザー削除

登録されているユーザーを一括して削除します。

#### ■ ユーザーの一括削除

ユーザーを一括して削除します。

ファイルをアップロードしてユーザーを削除する

一括削除するユーザーの情報をテキストファイルに保存し、そのファイルをアップロードすることでユーザーを削除します。

ファイルの書き方について: ?

**⚠** ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、存在しないユーザーやシステムアカウントを削除しようとしたときには、エラー内容を表示警告ウィンドウが表示されます。この場合、ユーザー削除は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

**⚠** 「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない事があります。

---

手動でまとめてユーザーを削除する

一括削除するユーザーを手入力、あるいはコピー&ペーストで指定します。

テキストの書き方について: ?

**⚠** ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、存在しないユーザーやシステムアカウントを削除しようとしたときには、エラー内容を表示警告ウィンドウが表示されます。この場合、ユーザー削除は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

ユーザーリストのファイルをアップロードする場合は、「ファイルをアップロードしてユーザーを削除する」、にファイルのパスを入力するか「参照」ボタンをクリックしファイルの指定ウィンドウからファイルの場所を指定します。

手入力の場合は「手動でまとめてユーザーを削除する」にユーザー情報を入力します。



入力形式は、「CSV一括ユーザー登録」の『一括管理の入力形式』をご参照ください。

「削除」ボタンをクリックして削除を実行します。



半角カナ／全角文字がファイル名、または、パスに含まれる場合アップロードが正常に実行できないことがあります。

### 5. CSV一括ユーザー保存

登録されているユーザーの情報を CSV 形式のファイルで保存します。

CSV形式ファイルによる、ユーザー一覧のダウンロード

現在、このサーバーマシンに登録されているユーザーの一覧を、CSV形式のファイルとしてダウンロードすることができます。CSV形式のファイルの各行には、「ユーザー名/パスワード/追加情報グループ/ログインシェル/メール転送アドレス/メールパスワード/メール設定/ユーザー有効期限/FTPログイン可否/メールスプール制限容量/ディスク制限容量/ノード制限数/ディスク超過許容量/ノード超過許容数」が格納されています。ただし、平文パスワードを取得することはできないため、パスワードの欄にはなにも格納されていません。

**⚠ 但し、平文パスワードを取得することはできないため、パスワードの欄にはハッシュ化パスワードが格納されます(チェックボックスをチェックした場合)。**

#### 保存内容について

1. ユーザー名
2. パスワード(ハッシュ化/パスワードの取得可)
3. 本名などの付加情報
4. アカウントが所属するグループ名
5. ログインシェル
6. 転送メールアドレス
7. メールパスワード(ハッシュ化/パスワードの取得可)
8. メール設定(-1:不可 / 0:POP&APOP / 1:APOP / 2:POP)
9. ユーザーの有効期限(YYYY/MM/DD)
10. FTPログインの可否(0:可/1:不可)
11. メールスプール制限容量[bytes]
12. ディスク制限容量(soft limit)[kBytes]
13. ノード制限数(soft limit)
14. ディスク超過許容量(hard limit)[kBytes]
15. ノード超過許容数(hard limit)
16. ユーザーID

パスワード欄にハッシュ化パスワードを格納する

 ダウンロード

このファイルには、パスワード以外のユーザー情報が記録されています。「ダウンロード」ボタンをクリックし、保存場所を指定してダウンロードします。

## ■ ユーザーリストの保存

サーバーに登録されているユーザーリストを CSV 形式のファイルで保存します。

ユーザーリストファイルには、パスワード以外のユーザー情報が記録されていますが、パスワード欄にハッシュ化パスワードを格納するにチェックを行うことで、平文ではなく、ハッシュ化されたパスワードを格納することができます。

「ダウンロード」ボタンをクリックし、保存場所を指定して、ダウンロードします。



ファイルの形式は、「CSV 一括ユーザー登録」の『一括管理の入力形式』をご参照ください。


### 6. アクセス権限設定

ユーザーごとに利用を許可する(権限を委譲する)HDE Controller のメニュー設定(アクセス権限設定)を行います。


#### ■ ユーザーの検索


#### ユーザー選択

プロフィールを編集する(または権限の一部を委譲する)ユーザーを選択します。  
設定したいユーザーの「編集」ボタンを押してください。

ユーザー検索:  表示件数:  

全 1 件  
ユーザーの頭文字 [a - a](#) [全て表示](#)

ユーザー名	使用/権限委譲 状態	
admin	53/54	

 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

- ユーザーアクセス権限を管理するユーザーを検索します。
- 「ユーザー検索」に検索したいユーザー名の一部または全てを検索キーワードに入力します。
- 検索結果の表示件数を設定する場合は、「表示件数」に一度に表示する件数を入力します。
- 「検索」ボタンをクリックして検索を実行します。
- ユーザー名の頭文字から検索する場合は、「ユーザーの頭文字」からアルファベットの範囲をクリックします。
- 全て表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

## ■ アクセス権限設定

### 運用メニュー設定

プロフィールを編集する(または権限の一部を委譲する)運用メニューを選択します。各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押してください。

ユーザー名: admin

運用メニュー	使用/権限委譲 状態	アクション
CGIインストール	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
DNSサーバー	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
FTPサーバー	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
HDE Controller設定	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
Webサーバー	6/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
アカウント	9/9	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
セキュアWebサーバー	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ディスク使用容量制限	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ネットワーク	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
バーチャルドメイン	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
バックアップ	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
メーリングリスト	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
メールサーバー	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ(一般用)	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ(管理者用)	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ログ管理	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
個人情報管理	7/7	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除

[← 戻る](#)

**⚠** 設定ファイルに変更を反映するには、上の「戻る」ボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

アクセス権限の変更を行う場合は、「編集」ボタンをクリックします。

ユーザーの運用メニュー設定画面が表示されます。

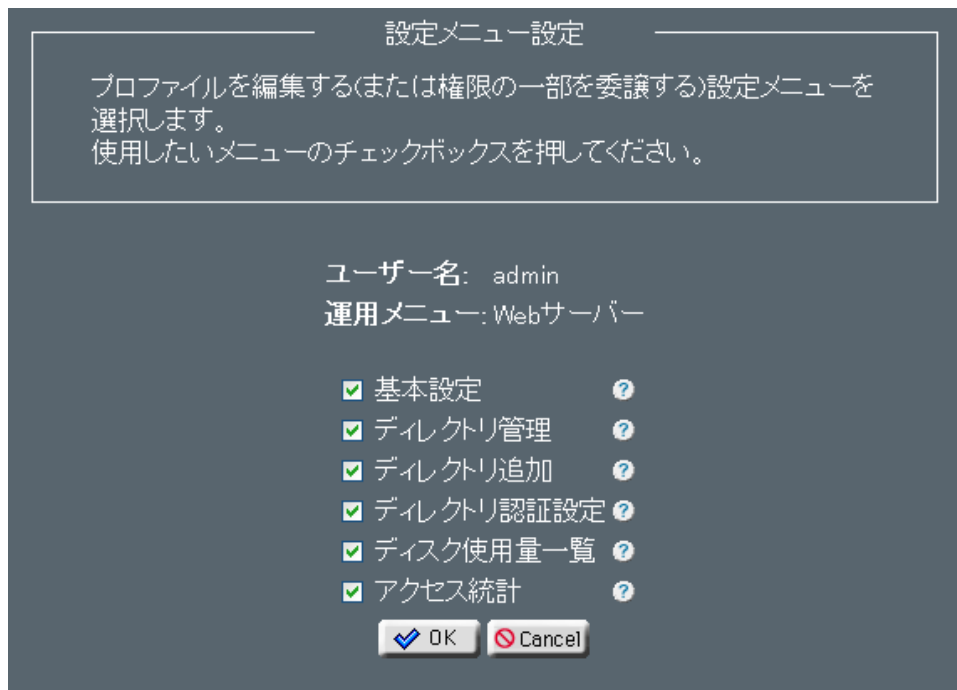
## 第8章 アカウント

「使用/権限委譲状態」には、各メニューに属する権限の総数と、現在委譲されている権限の数が表示されます。

メニューに属する全ての権限を委譲する場合は「全て」ボタンをクリックします。  
(特定のユーザーに権限を委譲すると危険なものについては選択できません。)

委譲されている権限を全て取り消す場合は、「削除」ボタンをクリックします。

メニューに属する権限を個別に設定する場合は、「カスタム」ボタンをクリックします。「カスタム」をクリックすると運用メニューに属する権限の委譲画面が表示されます。



委譲する権限を選択、または、取り消す権限の選択を解除し、「OK」ボタンをクリックします。  
運用メニュー設定画面に戻り、更に「戻る」ボタンをクリックしてユーザー選択画面に戻ります。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 7. アクセス権限一括設定

バーチャルドメイン管理者(admin@ドメイン名)を除くユーザーに利用を許可する(権限を委譲する)HDE Contorller のメニュー設定(アクセス権限設定)を一括編集します。

運用メニュー一括設定

root\*ispadmin\*lcadminを除くユーザーのプロファイルを一括編集します。  
各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押してください。

運用メニュー	使用/権限委譲 状態	アクション
CGIインストール	2/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
DNSサーバー	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
FTPサーバー	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
HDE Controller設定	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
Webサーバー	0/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
アカウント	0/9	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
セキュアWebサーバー	0/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ディスク使用容量制限	0/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ネットワーク	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
バーチャルドメイン	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
バックアップ	0/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
メーリングリスト	0/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
メールサーバー	0/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ(一般用)	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ(管理者用)	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ログ管理	0/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
個人情報管理	7/7	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除

各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押して下さい。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### 8. テンプレート設定

ユーザー追加画面の初期値として表示する値の設定を行います。同じような設定を持つユーザーを効率的に追加できます。

ユーザーテンプレート設定

ユーザーの追加時のデフォルトテンプレートを設定します。

シェル	?	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash ▼ <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input style="width: 100px;" type="text"/>
メール認証	?	<input checked="" type="radio"/> POP及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> どちらも認証不可
FTP	?	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限	?	<input type="radio"/> 無制限 <input checked="" type="radio"/> 2010 年 4 月 1 日
ホーム領域制限	?	警告容量 <input style="width: 50px;" type="text" value="100"/> MBytes 最大容量 <input style="width: 50px;" type="text" value="200"/> MBytes
メールスプール領域制限	?	<input style="width: 50px;" type="text" value="100"/> MBytes

シェルの利用を許可する場合は、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

メールの認証を APOP だけに限定してメールの利用を許可する場合はメールで「APOP のみで認証」を、POP だけに限定してメールの利用を許可する場合はメールで「POP のみで認証」を、POP でも APOP でもメールを利用可能にする場合は「POP 及び APOP で認証」を選択します。

メールの利用を許可しない場合は、メールで「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。

FTP の利用を許可する場合は FTP で「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとして FTP サーバーが選択されていない場合は選択できません(FTP は利用できません)。

アカウント有効期限を設定する場合は有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

ホーム領域制限を設定する場合は、「警告容量」と「最大容量」に制限値入力します。なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。



ドメインに最大ディスク容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。



ドメインにメールスプール容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

「設定する」ボタンをクリックし、設定を終了します。



# HDE Controller 5

---

## 第9章 バックアップ

### 1. スケジュール追加

バックアップのスケジュールを追加します。

#### ■ スケジュール追加

#### スケジュールの追加


バックアップスケジュールを追加します。  
指定したバックアップ領域、スケジュールに従って定期的にバックアップを実行します。

バックアップする領域

このバックアップ予定につける題名?

バックアップしたい領域を選択してください

<input type="checkbox"/> ユーザー領域	/home/lcvirtualdomain/example.jp
<input type="checkbox"/> メール領域	/home/vpopmail/domains/example.jp
<input type="checkbox"/> その他の領域	<input type="text" value="/home/lcvirtualdomain/example.jp"/>

 ディレクトリ選択

「このバックアップ予定につける題名」にスケジュールの設定名を入力します。

バックアップしたい領域を選択します。

既にリストにある領域以外を指定する場合は「その他の領域」にパスを入力するか「ディレクトリ選択」ボタンをクリックし、ディレクトリ選択ウインドウで場所を指定します。

「進む」ボタンをクリックして次の設定へ進みます。



保存されるファイルのアーカイブ形式は `tgz` (`tar+gzip`) 形式になります。

バックアップのスケジュールを指定します。

## バックアップスケジュール

### バックアップの日程②

- 毎日
- 毎週何曜日
- 毎月何日

### バックアップの時間②



バックアップファイル最大保存数②  個まで保存されます



- 「バックアップの日程」を「毎日」「毎週何曜日」「毎月何日」から選択します。
- 「毎週何曜日」を選択した場合は曜日の選択項目が表示されます。
- 「毎月何日」を選択した場合は、日付の選択項目が表示されます。

- 日程を正しく指定します。
- 実行する時間を「AM」「PM」何時、何分か選択します。
- 最大保存数を指定します(1~999 世代間で指定)
- 「進む」ボタンをクリックして、次の設定へ進みます。

バックアップ結果送信先の設定

バックアップ結果を下記メールアドレスへ送信します。

メールアドレス

バックアップ結果の報告送信先を設定します。  
メールによる報告を設定する場合は、「バックアップ結果を下記メールアドレスへ送信します。」を選択します。  
メールアドレスを入力します。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 2. 今すぐバックアップ

バックアップファイルを直ちに保存します。

### ■ サーバー内に保存

The screenshot shows a software window with two tabs: "サーバー内に保存" (Save to server) and "クライアント内に保存" (Save to client). The "サーバー内に保存" tab is active. Inside the window, there is a header "サーバー内に保存" and a message box that says "バックアップファイルをサーバー上に直ちに保存します。" (Save backup files to the server immediately). Below this, there is a section titled "バックアップしたい領域を選択してください?" (Please select the area you want to back up?). There are three radio button options: "ユーザーディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp", "メールスプール /home/vpopmail/domains/example.jp", and "その他の領域 /home/lcvirtualdomain/example.jp". The "その他の領域" option is selected. To the right of the "その他の領域" text is a text input field containing "/home/lcvirtualdomain/example.jp" and a "ディレクトリ選択" (Select directory) button. Below the radio buttons is a "+ その他の領域を追加" (Add other areas) button. At the bottom center is a "実行" (Execute) button with a play icon.

バックアップファイルをサーバー内に、直ちに保存します。

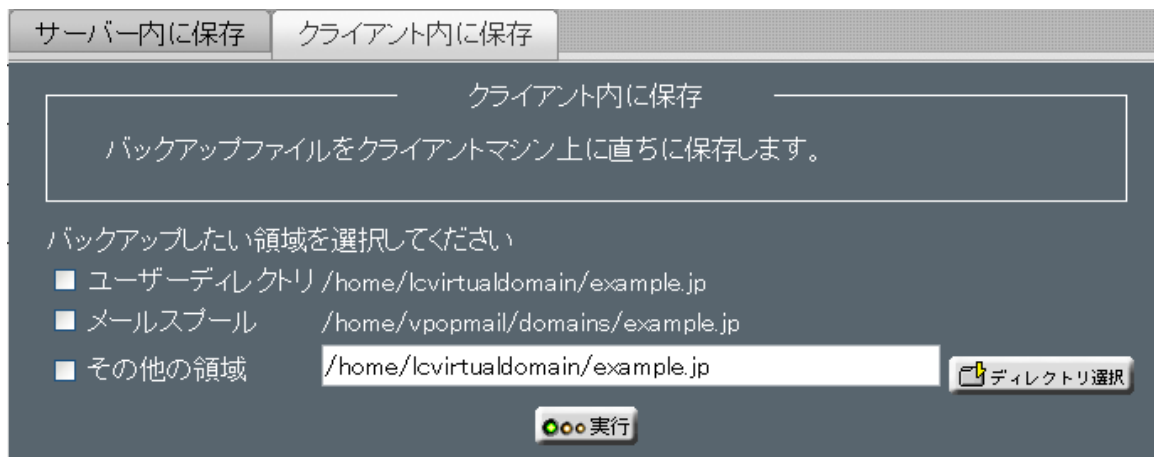
バックアップする領域を選択します。

既にリストにある領域以外を指定する場合は、「その他の領域」にパスを入力するか「ディレクトリ選択」ボタンをクリックし、ディレクトリ選択画面で指定します。

その他の領域を複数指定する場合は、「その他の入力欄を増やす」をクリックすると、入力欄を追加することができます。

「実行」ボタンをクリックして保存を実行します。

### ■ クライアント内に保存



バックアップファイルをクライアント内に直ちに保存します。(https 経由)

バックアップする領域を選択します。

既にリストにある領域以外を指定する場合は「その他の領域」にパスを入力するか、「ディレクトリ選択」ボタンをクリックし、ディレクトリ選択画面で指定します。

「実行」ボタンをクリックしてバックアップを実行します。

保存ダイアログが表示されたら保存場所を指定しバックアップを完了します。

### 3. バックアップファイルの復元

HDE Controller で生成されたバックアップファイルを復元します。

#### ■ サーバー内ファイル復元

The screenshot shows the 'サーバー内ファイル復元' (Server File Restoration) tab. At the top, there's a title bar with two tabs: 'サーバー内ファイル復元' (selected) and 'クライアント内ファイル復元'. Below the title bar, a message box states: 'HDE Controllerによって生成されたサーバー上のバックアップファイルを復元します。' (Restore backup files generated by HDE Controller on the server).

Below the message box, there are search filters: 'スケジュール名' (Schedule Name) set to '全て' (All), 'から日時' (From Date/Time) with an empty input field, and a '検索' (Search) button. A note says 'にマッチするファイルを表示' (Display files matching).

A table lists the backup files:

スケジュール名	バックアップ日時	サイズ(byte)	ファイル名
今すぐバックアップ	2008/04/25 21:19:15	143,669	icbk_manu_080425_211915.tgz

Below the table, there are buttons for '内容表示' (Content Display), '全て復元' (Restore All), and '削除' (Delete).

A warning message at the bottom states: '⚠ 削除を実行するには、「削除」ボタンで削除するファイルを選択し、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。' (To delete, select the file to delete with the 'Delete' button and click the 'Set' button below).

A '設定する' (Set) button is located at the bottom center.

サーバー内に保存されているバックアップファイルを復元／管理します。  
バックアップファイルを検索する場合は、「スケジュール名」を選択し、検索条件となる日時を、「日時」に入力します。  
「検索」ボタンをクリックして検索を実行します。

バックアップファイルの内容を全て復元する場合は、「全て復元」ボタンを、クリックします。  
バックアップファイルを削除する場合は、「削除」ボタンをクリックします。削除を取り消す場合は、再度ボタン(取消ボタン)をクリックします。削除の場合のみ、「設定する」ボタンをクリックして実行します。

復元するファイルを選択する場合は、「内容表示」ボタンをクリックし、バックアップファイル内容を表示します。

表示されたファイル/ディレクトリをすべて選択解除する場合は、「全てチェックを外す」ボタンをクリックします。  
表示されたファイル/ディレクトリをすべて選択する場合は、「全てチェックする」ボタンをクリックします。  
選択されたファイルを直ちに復元する場合は、「復元」ボタンをクリックします。

## 第9章 バックアップ



復元後、ディスクに存在する同名のファイルが、直ちに上書きされます。



保存形式が tgz 形式のバックアップファイルの復元が可能です。



サイズの大きなバックアップファイルを復元する場合には、処理に時間がかかります。Web ブラウザのタイムアウトで正常に処理されないことがあります。

### ■ クライアント内ファイル復元

サーバー内ファイル復元    クライアント内ファイル復元

クライアント内ファイル復元

HDE Controllerによって生成されたクライアントマシン上のバックアップファイルを復元します。

クライアントマシン上のバックアップファイルを指定してください。?

   参照...    復元

**⚠ 注意:**「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない事があります。

**⚠** また、256Mバイトを超えるファイルは復元できません。

クライアント内に保存されているバックアップファイルを復元します。

バックアップファイルが保存されている場所のパスを入力するか、「参照」ボタンをクリックし、保存場所指定画面でファイルの場所を指定します。

「復元」ボタンをクリックして復元を実行します。



バックアップファイルのファイル名や、ファイルの存在するパスの中に、半角カナ/全角文字が含まれている場合、Web ブラウザの種類等によりファイルのアップロードが正常に出来ない場合があります。



指定するバックアップファイルは HDE Controller で保存されたものでなければなりません。





256MB を超えるファイルの復元はできません。

### 4. スケジュール編集

保存されているバックアップスケジュールの編集・削除を行います。

#### ■ スケジュールの編集

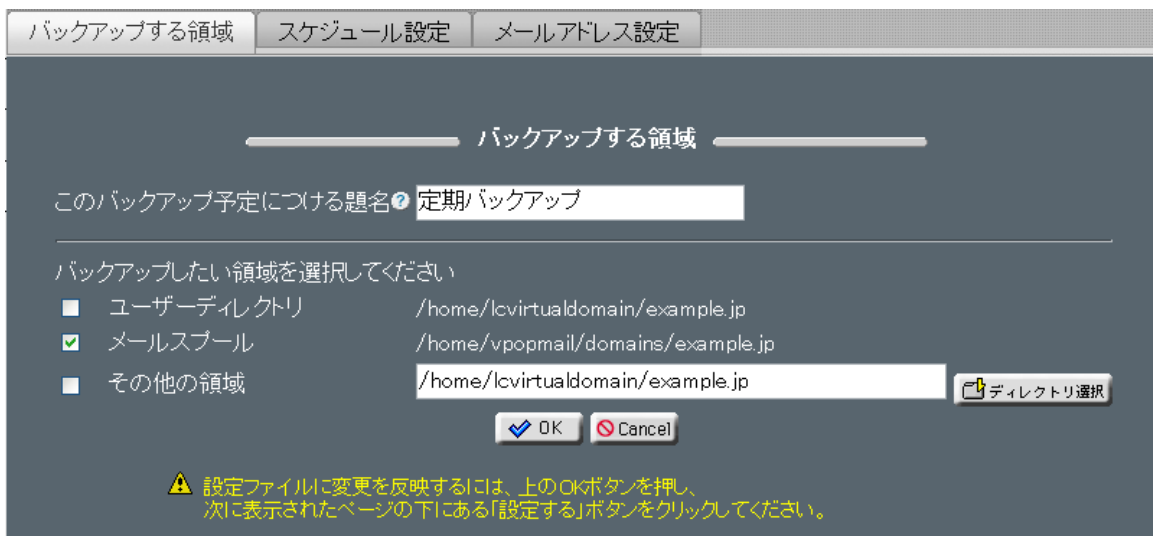
The screenshot shows a window titled "スケジュールの編集" (Edit Schedule). Inside the window, there is a text box with the following text: "ここでは、バックアップスケジュールの変更を行うことができます。 「削除」をクリックした場合は、そのスケジュールで生成されたバックアップファイルも削除するかどうかを選択します。" (Here, you can change the backup schedule. If you click "Delete", you can select whether to delete the backup files generated by that schedule.)

スケジュール	現在保存されている ファイル数	
定期バックアップ	5	 

At the bottom of the window, there is a button labeled "設定する" (Apply/Save).

「編集」ボタンをクリックすると編集画面が表示され「バックアップする領域」「スケジュール設定」「保存先設定」の3つのタブが表示されます。

## ■ バックアップする領域



バックアップする領域

スケジュール設定

メールアドレス設定

バックアップする領域

このバックアップ予定につける題名

バックアップしたい領域を選択してください

ユーザーディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp

メールスプール /home/vpopmail/domains/example.jp

その他の領域

**⚠** 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

「バックアップする領域」メニューでは、スケジュールの題名、バックアップする領域を管理／変更することができます。

題名を変更する場合は「このバックアップ予定につける題名」を変更します。

領域を変更する場合は、変更したい領域を選択します。

「OK」ボタンをクリックします。

スケジュール一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 第9章 バックアップ

### ■ スケジュール設定

「スケジュール設定」メニューでは、設定したスケジュールを変更します。

「バックアップの日程」を「毎日」「毎週何曜日」「毎月何日」から選択します。  
「毎週何曜日」を選択した場合は曜日の選択項目が表示されます。  
「毎月何日」を選択した場合は日付の選択項目が表示されます。  
バックアップの時間を「AM」「PM」を選択し、時／分を指定します。  
「OK」ボタンをクリックします。

スケジュール一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## ■ メールアドレス設定

「メールアドレス設定」メニューでは、バックアップ結果のメール送信先について設定します。

The screenshot shows a software interface with three tabs at the top: 'バックアップする領域' (Backup Area), 'スケジュール設定' (Schedule Setting), and 'メールアドレス設定' (Email Address Setting). The 'メールアドレス設定' tab is active. The main content area has a title 'バックアップ結果送信先の設定' (Backup Results Email Address Setting) and a checkbox labeled 'バックアップ結果を下記メールアドレスへ送信します。' (Send backup results to the following email address). Below the checkbox is a text input field for the email address. At the bottom of the dialog are two buttons: 'OK' (with a checkmark icon) and 'Cancel' (with a red 'X' icon). A yellow warning triangle icon is positioned above a line of text: '設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。' (To reflect changes in the settings file, press the OK button above, and then click the 'Settings' button on the page that appears next.)

バックアップ結果をメールで報告する場合は、「バックアップ結果を下記メールアドレスへ送信します。」を選択します。

メールアドレスを入力します。

「OK」ボタンをクリックします。

スケジュール一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。



# HDE Controller 5

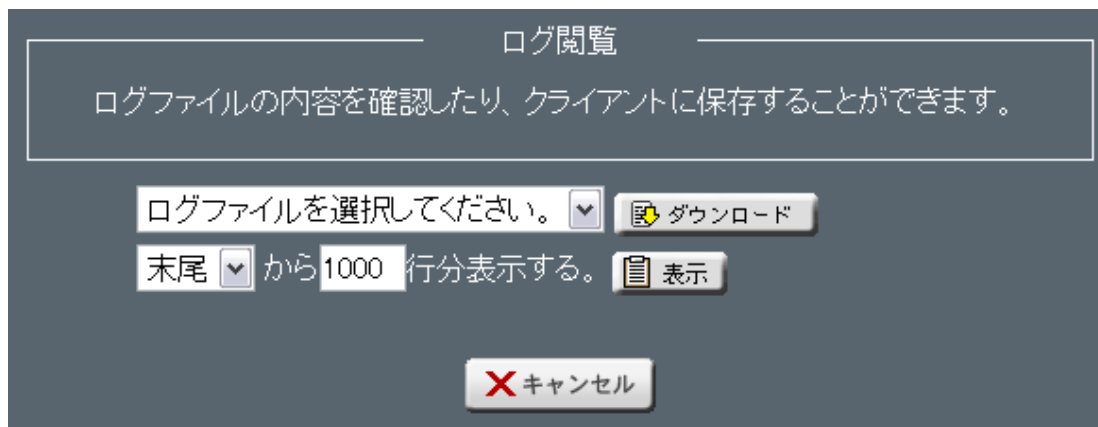
---

## 第 10 章 ログ管理

### 1. ログ閲覧

ログの管理はサーバー管理者の最も重要な仕事の一つです。「ログ管理」では、各種サービスのログを確認したり、監視したりすることができます。

各サービスが記録したログファイルを閲覧します。



#### ■ ログ閲覧

「ログ閲覧」のメニューをクリックすると、ログ閲覧画面が表示されます。

ここでは、ログファイルの内容を表示します。またクライアント側にダウンロードしてログを保存することができます。

プルダウンメニューより閲覧したいログファイルを選択します。

次に、プルダウンメニューより「先頭」もしくは「末尾」からのログファイルの行数を指定します。

「ダウンロード」または「表示」を選択し、ログを閲覧します。

## 2. ログ監視

### ログ監視

ログファイルを監視する機能の設定を行います。ログファイルを常に監視し特定のキーワードが見つかった場合に、リアルタイムでメールによるレポートを行います。

---

#### メールアドレス設定

メールアドレス:

---

#### ログファイルの追加

Webアクセスログ  
 Webエラーログ

Linux でサーバーを立てている場合バックグラウンドで実行された結果はすべてログファイルに記録されます。何か障害が起きた場合の原因究明や日々のサーバーの利用状況の調査、悪意のあるクラッカーからのアクセスの解明などログファイルの監視は様々な用途に応用でき、サーバーの運用管理には欠かせない機能となっています。

ログ監視設定では logsurfer を用いたログ監視の設定を行うことができます。logsurfer は常にログの監視を行い特定のキーワードを検出するとその結果をリアルタイムでメールによるレポートを行います。

### ● メールアドレスの設定

「メールアドレス」にメールアドレスを指定します。ここで登録されたメールアドレスに対してレポート結果がリアルタイムで送信されます。

## 第 10 章 ログ管理

- ログファイルの追加

監視する対象のログファイルの追加を行います。

- ルールの設定

監視するログファイルに対するルールの追加・編集を行います。ここで指定したルールが上から順に評価され、ルールにマッチするとアクションが実行されます。一度ルールが評価されるとそれ以降のルールは評価されません。ここで指定されたルールはログファイルの 1 行毎に評価されます。

- ログ監視のルール

ルールには「マッチする正規表現」「マッチしない正規表現」「アクション」の 3 つの要素があります。それぞれの要素は以下ようになります。

マッチする正規表現 - マッチさせるための正規表現を指定します。ここで指定した正規表現にマッチした行が見つかったらアクションが実行されます。

マッチしない正規表現 - マッチさせたくない正規表現を指定します。「マッチする正規表現」でマッチしてもここで指定した正規表現がマッチした場合、アクションは実行されません。 "-"または空文字(何も入力しない)にすると何も指定しません。

- アクション

アクションには「無視」「メール送信」の 2 種類あります。

無視

何もしません。以降のルールを適用させたくない場合に使用します。

メール送信

メールを送信します。マッチした行の内容が送信されます。

# HDE Controller 5

---

## 第 11 章 バーチャルドメイン

## 1. バーチャルドメインの状態

このバーチャルドメインの現在の設定の概要が表示されます。

### ■ ドメインの各種情報

バーチャルドメインの状態

バーチャルドメインの状態を表示します。

ドメイン名 : example.jp

タイプ	ユーザー数	ML数	ディスクサイズ(kB)	スプールサイズ(kB)	Web	セキュアWeb	メール	ML	FTP	DNS	シェル	有効期限
名前	2 / 1,000	1 / 10	292 / 5,120,000	0 / 5,120,000		port:444						2010/04/1

このドメインに関する以下の情報を表示します。

タイプ	名前ベースドメインか IP ベースドメインかの、ドメインタイプを表示します。
ユーザー数	現在の登録ユーザー数と登録可能ユーザー数を表示します。
ML 数	現在の登録メーリングリスト数と登録可能メーリングリスト数を表示します。
ディスクサイズ	Web スペースを含むホームディレクトリ領域のサイズとその使用可能容量をキロバイトで表示します。
スプールサイズ	メールスプール領域のサイズとその使用可能容量をキロバイトで表示します。
Web	Web サービスが利用可能かどうかを表示します。
セキュア Web	セキュア Web サービスが利用可能かどうかを表示します。セキュア Web サービスで利用するポート番号も表示されます。
メール	メールサービスが利用可能かどうかを表示します。
ML	メーリングリストサービスが利用可能かどうかを表示します。
FTP	FTP サービスが利用可能かどうかを表示します。
DNS	DNS サービスが利用可能かどうかを表示します。

シェル	ドメインに属するユーザーのログインシェル変更可能かどうかを表示します。
有効期限	ドメインに属するユーザーのログイン有効期限に設定できる最大値を日付で表示します。



# HDE Controller 5

## 第 12 章 ネットワーク

### 1. ネットワーク情報の取得

サーバーおよびネットワークの情報取得を行います。



ping, dig, traceroute, host, whois, の各コマンドが使用できない場合に実行すると、失敗します。

#### ■ ホスト情報(host)の取得

ホスト情報を取得したい場合は、「ホスト情報(host)の取得」をチェックし

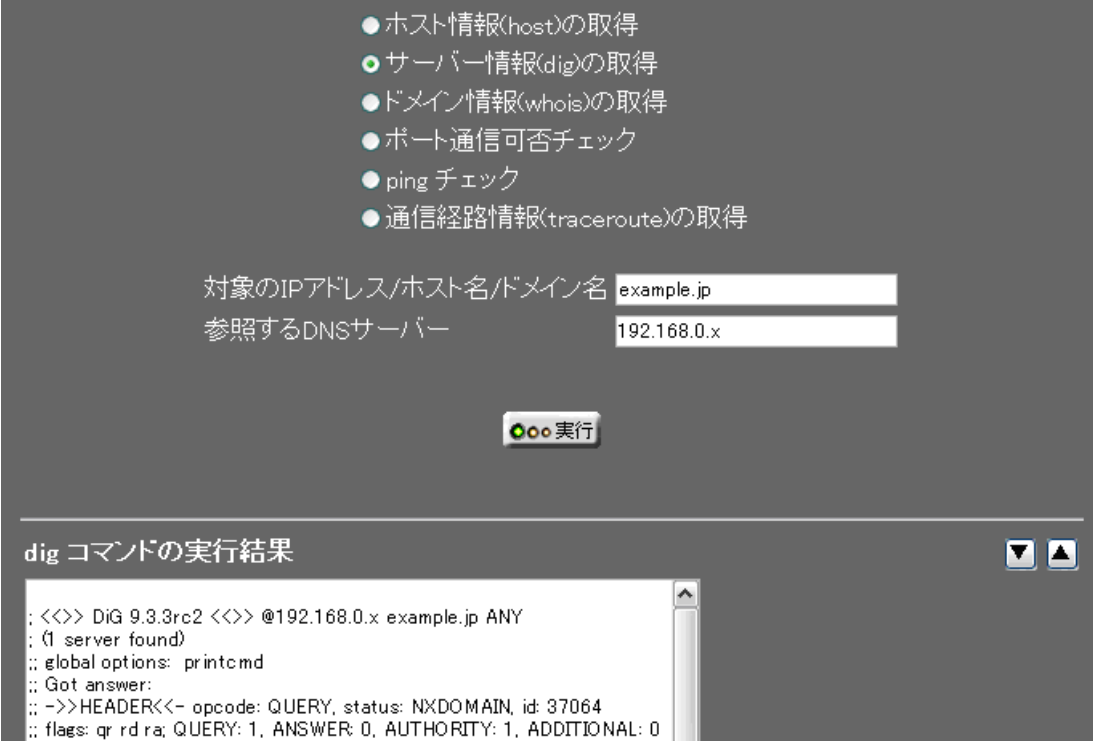
「対象の IP アドレス/ホスト名/ドメイン名」を指定します。

The screenshot shows a dark-themed interface with the following elements:

- A list of radio buttons for selecting services to check:
  - ホスト情報(host)の取得
  - サーバー情報(dig)の取得
  - ドメイン情報(whois)の取得
  - ポート通信可否チェック
  - ping チェック
  - 通信経路情報(traceroute)の取得
- A text input field labeled "対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名" containing the text "example.jp".
- A button labeled "実行" (Execute) with a play icon.
- A section titled "host コマンドの実行結果" (host command execution results) with a scrollable text area containing the output: "Host example.jp not found: 3(NXDOMAIN)".
- Navigation arrows (down and up) are visible on the right side of the results section.


## ■ サーバー情報(dig)の取得

サーバー情報を取得したい場合は、「サーバー情報(dig)の取得」をチェックし「対象の IP アドレス/ホスト名/ドメイン名」を指定し、「参照先の DNS サーバー」に参照対象の DNS サーバー名を指定します。



● ホスト情報(host)の取得  
● **サーバー情報(dig)の取得**  
● ドメイン情報(whois)の取得  
● ポート通信可否チェック  
● ping チェック  
● 通信経路情報(traceroute)の取得

対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名   
参照するDNSサーバー

 実行

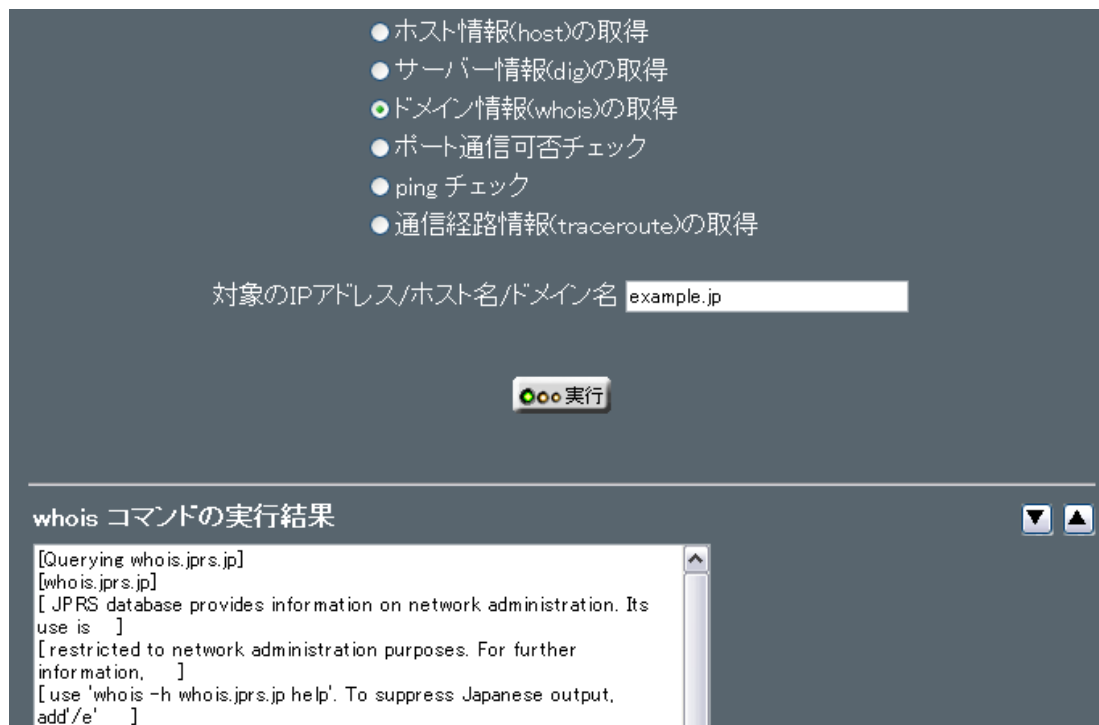
---

dig コマンドの実行結果 ▼ ▲

```
; <<>> DiG 9.3.3rc2 <<>> @192.168.0.x example.jp ANY
; (1 server found)
;; global options: printcmd
;; Got answer:
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NXDOMAIN, id: 37064
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 0, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
```

### ■ ドメイン情報(whois)の取得

ドメイン情報を取得したい場合は、「ドメイン情報(whois)の取得」をチェックし「対象の IP アドレス/ホスト名/ドメイン名」を指定します。



The screenshot shows a dark-themed interface with a list of services to check. The 'ドメイン情報(whois)の取得' option is selected with a green dot. Below the list is a text input field containing 'example.jp' and a button labeled '実行' (Execute). The bottom section, titled 'whois コマンドの実行結果', shows the output of the command in a scrollable window.

- ホスト情報(host)の取得
- サーバー情報(dig)の取得
- ドメイン情報(whois)の取得
- ポート通信可否チェック
- ping チェック
- 通信経路情報(traceroute)の取得

対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名

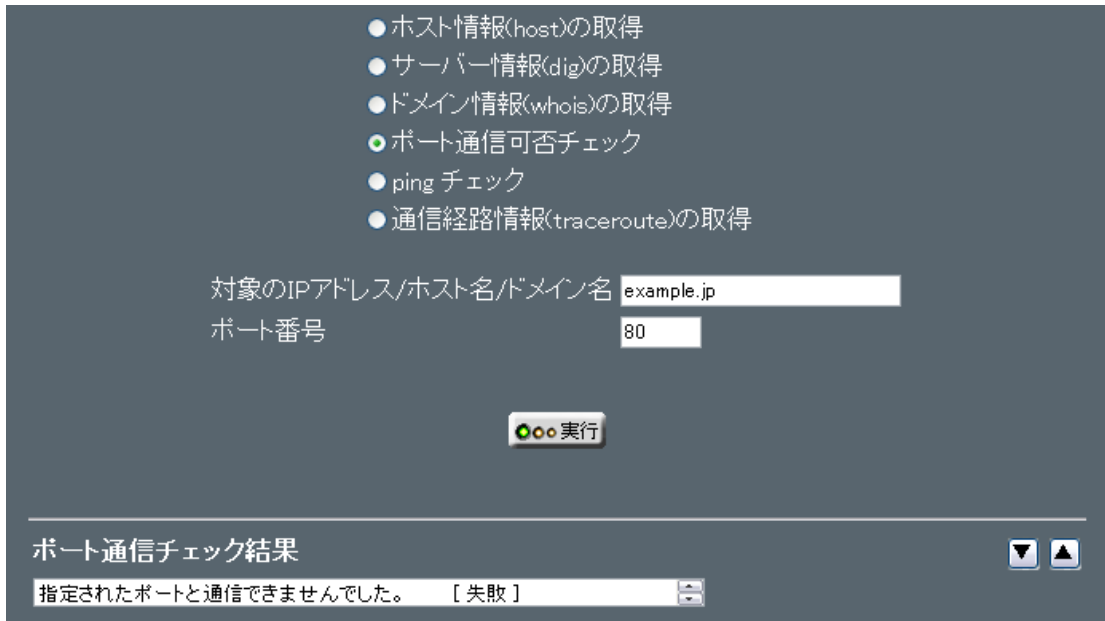
---

whois コマンドの実行結果 ▼ ▲

```
[Querying whois.jp.rs.jp]
[whois.jp.rs.jp]
[ JPRS database provides information on network administration. Its
use is ]
[ restricted to network administration purposes. For further
information, ]
[ use 'whois -h whois.jp.rs.jp help'. To suppress Japanese output,
add '/e' ]
```

## ■ ポート通信可否チェック

ポート開閉情報を取得したい場合は、「ポート通信可否チェック」をチェックし「対象の IP アドレス/ホスト名/ドメイン名」と、「ポート番号」を指定します。



The screenshot shows a web-based interface for port communication checks. It features a list of services to check, input fields for target IP/domain and port number, an execution button, and a results section.

- ホスト情報(host)の取得
- サーバー情報(dig)の取得
- ドメイン情報(whois)の取得
- **ポート通信可否チェック**
- ping チェック
- 通信経路情報(traceroute)の取得

対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名

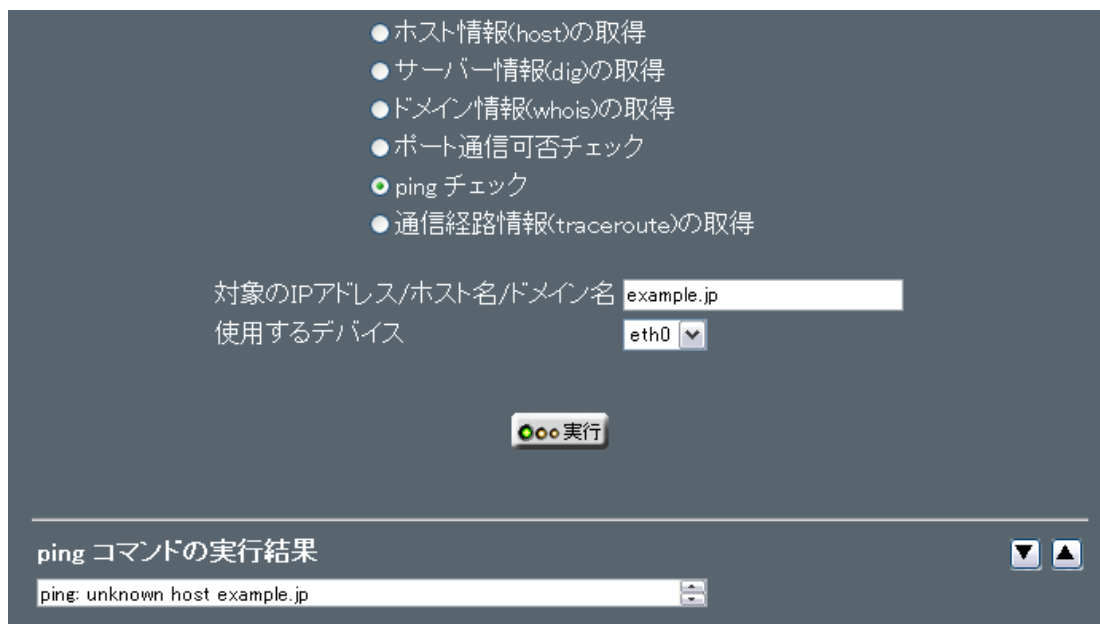
ポート番号

---

ポート通信チェック結果 ▼ ▲

### ■ ping チェック

指定先との通信チェックを行いたい場合は、「ping チェック」をチェックし、「対象の IP アドレス/ホスト名/ドメイン名」を指定し、「使用するデバイス」を選択します。




The screenshot shows a dark-themed interface for a network utility. At the top, there is a list of six radio button options: 'ホスト情報(host)の取得', 'サーバー情報(dig)の取得', 'ドメイン情報(whois)の取得', 'ポート通信可否チェック', 'ping チェック', and '通信経路情報(traceroute)の取得'. The 'ping チェック' option is selected. Below the list, there are two input fields: '対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名' with the value 'example.jp' and '使用するデバイス' with a dropdown menu showing 'eth0'. A button with a play icon and the text '実行' is positioned below the input fields. At the bottom, there is a section titled 'ping コマンドの実行結果' with a scrollable text area containing the output 'ping: unknown host example.jp'. There are also expand/collapse icons on the right side of the result section.

- ホスト情報(host)の取得
- サーバー情報(dig)の取得
- ドメイン情報(whois)の取得
- ポート通信可否チェック
- ping チェック
- 通信経路情報(traceroute)の取得

対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名

使用するデバイス

 実行

---

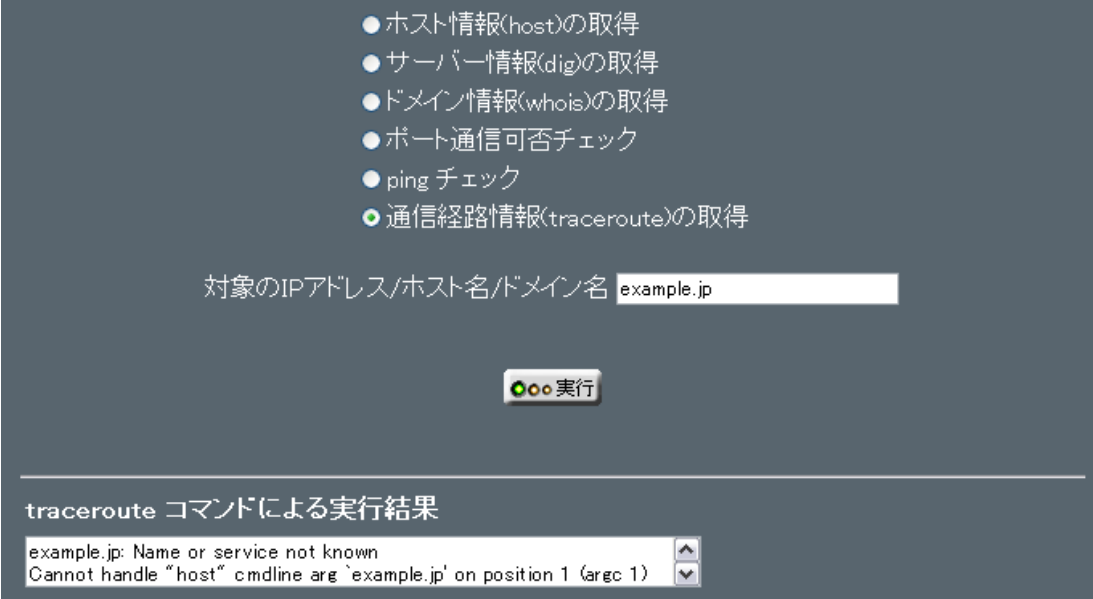
ping コマンドの実行結果 ▼ ▲

```
ping: unknown host example.jp
```

## ■ 通信経路情報(traceroute)の取得

経路情報を取得したい場合は、「通信経路情報(traceroute)の取得」をチェックし

「対象の IP アドレス/ホスト名/ドメイン名」を指定します。



The screenshot shows a dark-themed interface with a list of options for data collection. The options are:

- ホスト情報(host)の取得
- サーバー情報(dig)の取得
- ドメイン情報(whois)の取得
- ポート通信可否チェック
- ping チェック
- 通信経路情報(traceroute)の取得

Below the list, there is a text input field labeled "対象のIPアドレス/ホスト名/ドメイン名" containing the text "example.jp".

Below the input field is a button labeled "実行" (Execute) with a play icon.

---

traceroute コマンドによる実行結果

```
example.jp: Name or service not known
Cannot handle "host" cmdline arg `example.jp' on position 1 (argc 1)
```



# HDE Controller 5

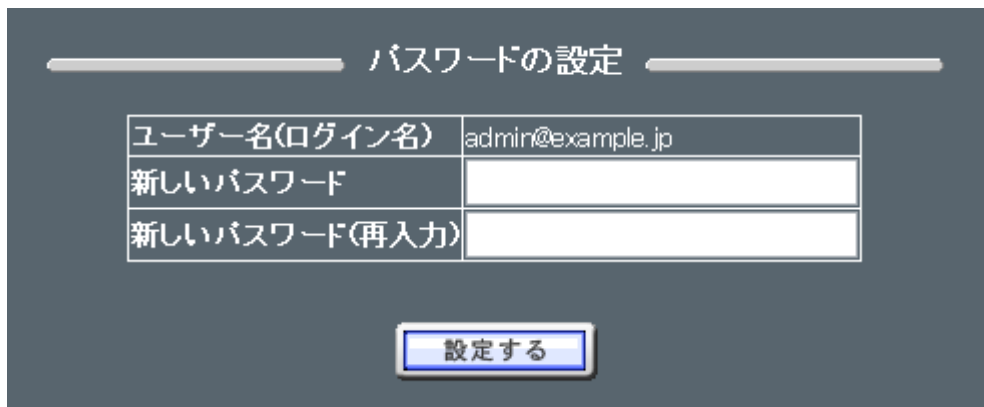
---

## 第 13 章 個人情報管理

### 1. ログインパスワード

ユーザーのパスワードの設定を行います。

#### ■ パスワードの設定



The screenshot shows a web form titled "パスワードの設定" (Password Setting). It contains three input fields and a button. The first field is labeled "ユーザー名(ログイン名)" (Username/Login Name) and contains the text "admin@example.jp". The second field is labeled "新しいパスワード" (New Password) and is empty. The third field is labeled "新しいパスワード(再入力)" (New Password (Re-entry)) and is empty. Below the fields is a blue button with the text "設定する" (Set).

パスワードの設定	
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
新しいパスワード	
新しいパスワード(再入力)	

設定する

ユーザーのパスワードを変更します。

変更する場合は「新しいパスワード」を入力します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

## 2. 詳細設定

ユーザーの追加情報/シェルを設定します。

### ■ ユーザーの詳細設定

ユーザーの詳細設定	
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
追加情報(本名など)	(例) Taro Yamada (空欄でも可)

設定する

ユーザーの追加情報/シェルを設定します。

「追加情報」にユーザーの名前などコメントを必要に応じて入力/変更します。

シェルが使用できる場合は「使用するシェル」に登録されているシェルが表示されます。使用するシェルを選択します。

正しければ「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### 3. メール転送

ユーザーのメール転送先を設定します。

#### ■ メールの転送先設定

メールの転送先設定	
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
メールの転送先	<input type="text"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す
	<p><b>注意!</b>:メールの転送先の設定は注意深く行なってください。 メールアドレスが間違っていると、メールが届かなくなるだけでなく、他人に迷惑をかける可能性があります。</p>
<input type="button" value="設定する"/>	

ユーザーのメール転送先を設定します。

「メールの転送先」に転送先メールアドレスを入力します。

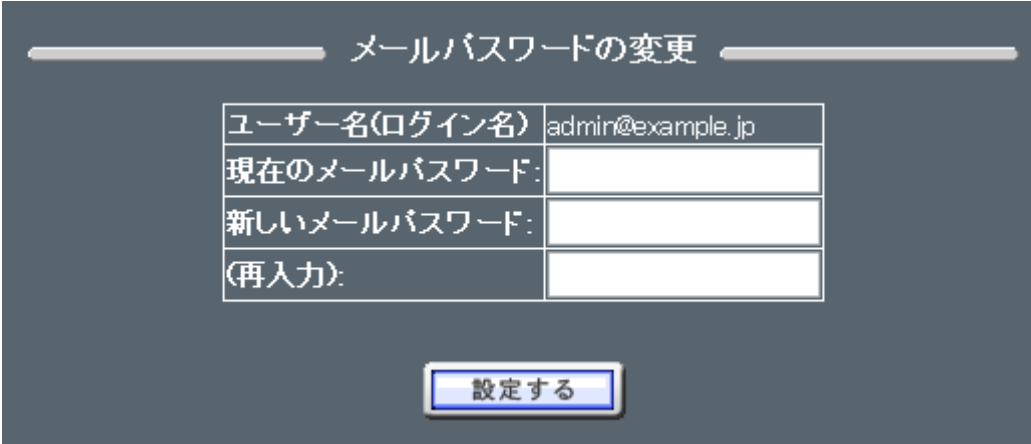
転送するメールをサーバーに保存する場合は「このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す」を選択します。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 4. メールパスワード

ユーザーのメールパスワードの設定を行います。

### ■ メールパスワードの設定



メールパスワードの変更	
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
現在のメールパスワード:	<input type="password"/>
新しいメールパスワード:	<input type="password"/>
(再入力):	<input type="password"/>

ユーザーのメールパスワードを設定します。

メールパスワードを変更する場合は「現在のメールパスワード」と「新しいメールパスワード」を入力します。

正しければ「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### 5. 自動メール返信設定

ユーザーあてのメールに対し、自動的に返信を行う設定をします。

#### ■ 自動メール返信の設定

#### メールの自動返信設定

メールの自動返信設定を行います。長期にわたり、メールを受信出来ない場合などに利用します。

ユーザー名(ログイン名): admin

#### 自動メール返信設定

自動メール返信機能を有効にする

**⚠** メールリングリストに参加している場合など、ネチケットとして自動返信メールは使用すべきでない場合があります。自動返信を設定することに問題が無いかどうか検討してから使用してください。

#### 返信メール設定

返信メール差出人:  <admin@example.jp>

返信メール件名:

返信メール本文:

**⚠** メール本文は通常のテキスト文で送信します。HTMLタグ等は全てそのままの状態での送信されます。

自動メール返信を有効にする場合は、「自動メール返信機能を有効にする」を選択します。

返信メール差出人/返信メール件名/返信メール本文、を入力します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。



自動返信メールは、メーリングリストに参加している場合など、自動返信機能が問題になる場合があります。  
使用に問題がないか、必ず確認の上設定してください。

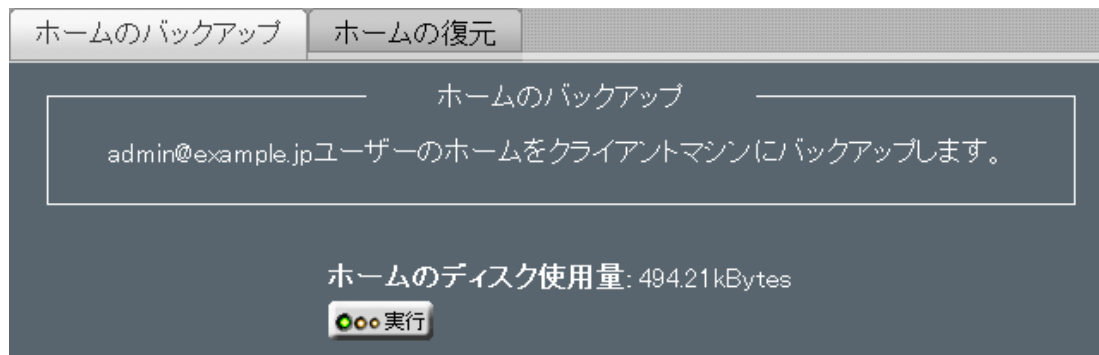


メール本文は、テキスト文で送信されます。HTML タグ等は、テキストとしてそのままの状態が表示されます。

### 6. バックアップ/復元

ユーザーのホームディレクトリをバックアップ、または、バックアップファイルを復元します。

#### ■ ホームのバックアップ



ホームディレクトリをバックアップする場合は、「実行」ボタンをクリックして、バックアップを実行します。

保存ダイアログが表示されます。

保存を選択し、バックアップファイルをダウンロードします。

## ■ ホームの復元

ホームのバックアップ ホームの復元

### ホームの復元

admin@example.jpユーザーのホームにクライアント上のバックアップファイルを復元します。

ファイル指定  参照... 復元

**⚠** 「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない事があります。

**⚠** 256Mバイトを超えるファイルは復元できません。

クライアントコンピュータ内に保存されているバックアップファイルを復元します。

「ファイル指定」に、バックアップファイルが保存されているパスを入力します。

ファイルを参照して指定する場合は、「参照」ボタンをクリックしファイル選択画面から指定します。

**⚠** バックアップファイルは、「ホームのバックアップ」で生成された、tgz形式のファイルを指定してください。

**⚠** ファイル名、または、ファイルのパスに、半角カナ／全角文字が含まれている場合、Webブラウザの種類によっては、正常にアップロードできないことがあります。

「復元」ボタンをクリックし、復元を実行します。

**⚠** 256MBを超えるファイルは復元できません。

### 7. ユーザーステータス

ユーザー情報を表示します。

#### ■ ユーザーステータスの表示

ユーザー名(ログイン名)		admin@example.jp
ホームのディスク使用量	?	276kBytes(制限なし)
メールスプールのディスク使用量	?	0Bytes(制限なし)

HDE Controller にログインしているユーザーの、以下の情報を表示します。

ユーザー名/ホームのディスク使用量/メールスプールのディスク使用量

# HDE Controller 5

## 第 14 章 ユーティリティ

## 1. ファイルマネージャー

サーバーを利用するにあたってホームディレクトリをはじめ各ファイル・ディレクトリの管理を行う「ファイルマネージャー」を利用することができます。

### ■ ファイルマネージャー

ログインしたユーザーのホームディレクトリが表示されます。

検索文字列:  一度に表示する項目数: 50

---

全 15 件  
名前の先頭文字: .\_ 全て表示

---

ディレクトリ作成:

ファイルアップロード:

ディレクトリ圧縮ダウンロード形式: tar+gzip(tgz)

---

カレントディレクトリ: /root ホームディレクトリに戻る

名前	サイズ	日付	パーミッション	アクション
<a href="#">一つ親のディレクトリに移動</a>	4.10 KB	08年04月16日 02時49分	rwxr-xr-x	
<a href="#">bash_history</a>	356 バイト	08年04月21日 20時11分	rw-r-----	
<a href="#">bash_logout</a>	24 バイト	08年04月16日 02時13分	rw-r-----	
<a href="#">bash_profile</a>	191 バイト	08年04月16日 02時13分	rw-r-----	
<a href="#">bashrc</a>	176 バイト	08年04月16日 02時13分	rw-r-----	
<a href="#">cshrc</a>	100 バイト	08年04月16日 02時13分	rw-r-----	
<a href="#">gnupg</a>	4.10 KB	08年04月16日 02時57分	rwx-----	
<a href="#">llto</a>	4.10 KB	08年04月16日 02時53分	rwxr-xr-x	
<a href="#">rnd</a>	1.02 KB	08年04月24日 21時05分	rw-r-----	
<a href="#">tcshrc</a>	129 バイト	08年04月16日 02時13分	rw-r-----	
<a href="#">anaconda-ks.cfg</a>	1.19 KB	08年04月16日 02時40分	rw-r-----	
<a href="#">HDE</a>	4.10 KB	08年04月16日 02時53分	rwxrwxr-x	
<a href="#">hde-install.log</a>	119.73 KB	08年04月16日 02時58分	rw-r-----	
<a href="#">HDE_Controller_5.0-901_2008040815583</a>	128.00 MB	08年04月16日 02時52分	rw-r-----	
<a href="#">install.log</a>	36.34 KB	08年04月16日 02時40分	rw-r-----	
<a href="#">install.log.syslog</a>	4.91 KB	08年04月16日 02時40分	rw-r-----	

## ● 検索方法

検索文字列のテキストボックスに検索したい文字を入力します。(検索したい文字の一部分を入力し、検索することも可能です。)

「検索」ボタンをクリックします。



一度に表示する項目数はデフォルトでは 10 項目になっています。(数字を入力し、変更することも可能です。「全て表示」をクリックすると、カレントディレクトリの全てのファイルとディレクトリを表示します。)

## ● ディレクトリの作成方法

ディレクトリ名を入力し、「新規作成」ボタンをクリックします。

カレントディレクトリのパーミッションによっては作成出来ない場合があります。その際画面右上に「カレントディレクトリにディレクトリを作成するための権限がありません」と表示されます。

また、全角文字や半角カナ文字などを使用すると Linux でのアクセスが困難になったり不都合が発生したりする場合があります。

## ■ ファイルのアップロード

クライアントから Linux にファイルのアップロードをします。

「参照」ボタンをクリックし、クライアントマシンから目的のファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックします。



カレントディレクトリのオーナーが自分でない場合(その際画面右上に「ファイルをアップロードするための権限がありません。」と表示されます。)や、同名のファイルが既に存在する場合はアップロードできません。

## 第 14 章 ユーティリティ

### ■ ファイルのダウンロード

表の中のアクションボタンをクリックします。「ファイルのダウンロード」画面が表示されるので、クライアントマシンの保存先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

読み込み権限がない場合にはダウンロードできません。その際、ボタンは薄いグレーで表示されます。

### ● パーミッションの変更

表の中のアクションボタンをクリックして設定します。

#### 【名前】

ファイル名・ディレクトリ名です。長い名前は省略されます。正式な名前はマウスポインタを該当の項目に移動すると表示されます。

#### 【サイズ】

ファイルのサイズ・ディレクトリのブロック数が表示されます。

通常、単位は Byte で表示されます。

大きな数字は kByte(1,024 バイト)・MByte(1,024 キロバイト)として表示されます。正確な数値は該当する項目にマウスポインタを移動すると表示されます。

#### 【日付】

ファイル・ディレクトリの作成・更新日付です。該当項目にマウスポインタを移動するとより詳細に表示します。

#### 【パーミッション】

ファイル・ディレクトリのパーミッションです。9 桁の文字で表示されます。左から順番に下記のようになります。

r ファイルの作成者がファイルを読み込む権限があります。

w ファイルの作成者がファイルを書き込む権限があります。

x ファイルの作成者がファイルを実行する権限があります。ディレクトリの場合は該当ディレクトリに移動する権限になります。

r ファイルの作成グループがファイルを読み込む権限があります。

w ファイルの作成グループがファイルを書き込む権限があります。

x ファイルの作成グループがファイルを実行する権限があります。ディレクトリの場合は該当ディレクトリに移

動する権限になります。

- r 全てのユーザーがファイルを読み込む権限があります。
- w 全てのユーザーがファイルを書き込む権限があります。
- x 全てのユーザーがファイルを実行する権限があります。ディレクトリの場合は該当ディレクトリに移動する権限になります。

### 【アクション】

それぞれのファイル・ディレクトリに対して可能なアクションがアイコンで表現されています。ハイライト表示されている場合にその機能が利用出来ます。



ファイル・ディレクトリの情報を見ることができます。ファイルの変更をすることが可能な場合はパーミッションを変更することができます。



ファイル・ディレクトリの削除をします。ファイルのオーナーが自分でない場合は出てきません。ディレクトリの場合はディレクトリ内にファイル・ディレクトリが存在してはいけません。



ファイル・ディレクトリのダウンロードをします。読み込み権限が無い場合はダウンロードできません。



# HDE Controller 5

## 第 15 章 HDE Controller設定

### 1. お気に入り

HDE Controller でよく利用するメニューをお気に入りメニューとして登録することができます。

ここで登録されたメニューは常に管理画面の右上に小さいアイコンで表示されるようになり、必要な時にこれをクリックすることで、素早く目的の機能にアクセスすることが可能になります。

#### お気に入り

よく使う機能をお気に入りに登録することができます。

メニュー		お気に入り
<b>サービス</b>		アカウント
セキュアWebサーバー		Webサーバー
メールサーバー		メールリングリスト
FTPサーバー		DNSサーバー
ディスク使用容量制限		HDE Controller設定
<b>運用</b>		
バックアップ	+	
ログ管理		
バーチャルドメイン		
ネットワーク		
<b>パーソナル</b>		
ユーティリティ(管理者用)		
CGIインストール		

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

**設定する**

お気に入りにメニューを登録したい場合は、登録したいメニューを設定画面の左側のテキストエリアから選択し、「追加」ボタンをクリックします。

お気に入りからメニューを解除したい場合は、解除したいメニューを右側のテキストエリアから選択し、「削除」ボタンをクリックします。

登録したお気に入りの表示順序を変更したい場合は、変更したいメニューを選択し「UP」ボタン、または「DOWN」ボタンで移動させます。

全ての設定が完了したら「設定する」ボタンをクリックして設定を完了させます。



コントロール(Ctrl)キーを利用することで、テキストエリア上の複数のメニューを一度に選択することができます。



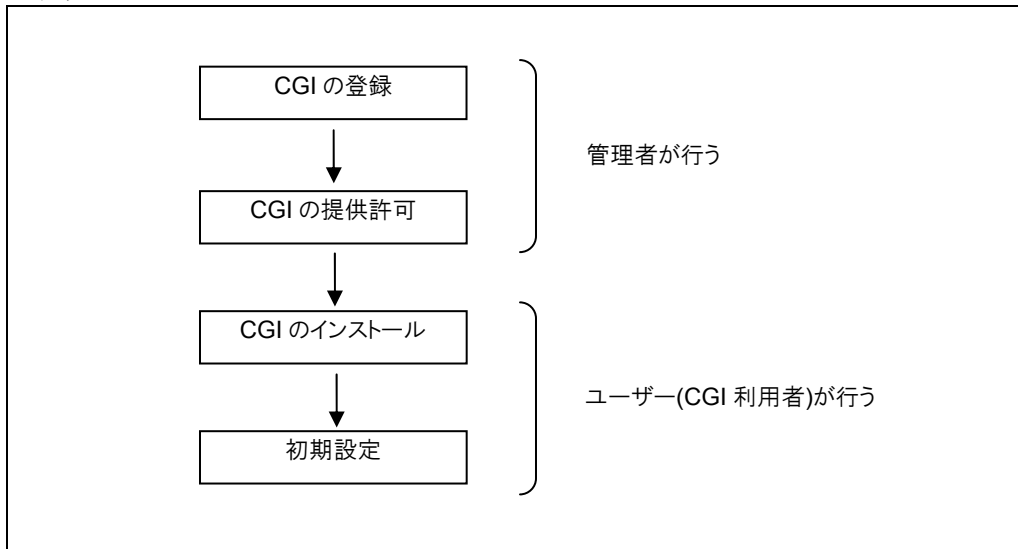
# HDE Controller 5

## 第 16 章 CGIインストール

### 概要

ここでは CGI のインストールを行います。CGI をインストールして実際に使用できるようになるまでは以下のような流れになります。

フローチャート



登録する CGI はあらかじめ規約に沿ってパッケージングを行っておく必要があります。パッケージングの詳細については、「CGI パッケージング」の項にて解説をします。

## 1. CGI登録

### CGI登録

運用するCGIのパッケージをアップロードし、登録します。パッケージは、HDE Controller独自の規約によって作成されたtar.gzファイルになります。  
登録したCGIは、「CGI制御」でCGIの提供を開始することで、ユーザーによるCGIのインストールが可能になります。

ファイル

この画面では CGI パッケージの登録を行います。

「参照」ボタンを押してアップロードする CGI パッケージを指定し、「実行」ボタンを押すと、CGI パッケージの内容確認画面が表示されます。

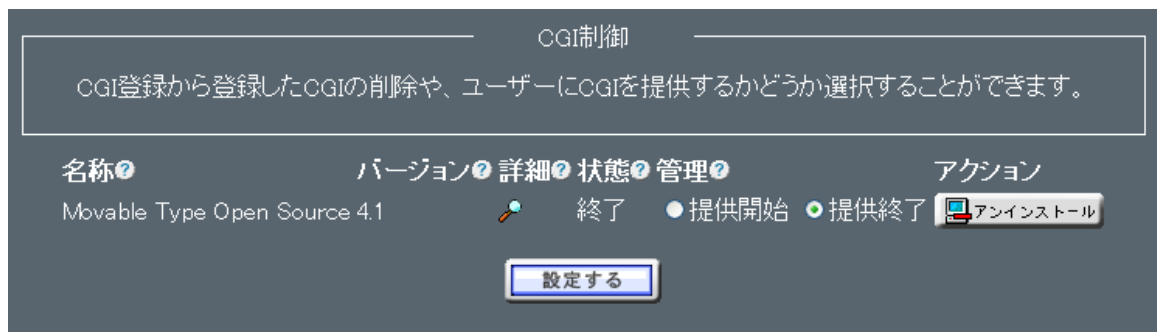
### 内容確認

下記の内容に問題がなければ設定ボタンを押してパッケージをインストールしてください。

名称	Movable Type Open Source
バージョン	4.1
配布元	HDE, Inc.
詳細	強力なウェブパブリッシング機能を備えたコミュニケーションプラットフォームです。

内容に間違いがなければ「設定する」ボタンを押します。

### 2. CGI制御



この画面では登録された CGI をユーザーに提供するかどうかの制御及び CGI パッケージのアンインストールを行います。

#### ■ CGIの提供制御

登録された CGI は「提供終了」の状態になっています。ユーザーにサービスを提供したいパッケージの「提供開始」を選択し、「設定する」ボタンを押します。すると状態が「開始」になりユーザがインストールを行えるようになります。

提供を終了するには、「提供終了」を選択後、「設定する」ボタンを押します。すると状態が「終了」になり、ユーザーはインストールを行えなくなります。



「提供終了」にしても、ユーザーがインストール済みの CGI を削除することはありません。

「詳細」ボタンを押すと CGI パッケージの詳細情報を確認することができます。

#### ■ CGIパッケージのアンインストール

不要になったパッケージのアンインストールを行うには、「アンインストール」ボタンを押します。削除する CGI パッケージの確認画面が表示されますので、間違いが無ければ「設定する」ボタンを押してください。パッケージが削除されます。




パッケージのアンインストールを行うと、ユーザーがインストール済みの CGI も全て削除されます。

### 3. CGIインストール

CGIインストール

CGIのインストールを行います。インストールしたいCGIを選択して詳細情報を確認した後「インストール」ボタンでインストールを行うことができます。


名称?	バージョン?	アクション
Movable Type Open Source	4.1	

この画面では各ユーザーが使用する CGI のインストールを行います。インストールを行いたいパッケージの「インストール」ボタンを押すと、インストールするパッケージの確認画面が表示されます。

インストールするパッケージの確認

以下のパッケージをインストールする場合、インストール先を指定して、「設定する」ボタンを押して下さい。

**⚠ 指定ディレクトリにCGIパッケージに含まれるファイルと同名のファイルが存在した場合は上書きされますのでご注意ください。**

インストールディレクトリ  
 



名称? Movable Type Open Source  
バージョン? 4.1  
配布元? HDE, Inc.  
詳細? 強力なウェブパブリッシング機能を備えたコミュニケーションプラットフォームです。

インストールスクリプト?  

```
#!/bin/sh
#
#@(#) Movable Type Open Source install script

name="mtos"
# system setting
prefix=${1}/${name}
uid=$2
gid=$3

# setting
```

## 第 16 章 CGI インストール

内容に問題がない事を確認後、インストールディレクトリを指定し、「設定する」ボタンを押すと、指定ディレクトリを基準としてインストールが行われます。

インストールディレクトリの指定は各ユーザーの権限の範囲内でのみ行うことができます。

インストールスクリプトの実行はログインユーザの権限で行われます。インストールディレクトリの権限はあらかじめファイルマネージャ機能等を利用して書き込み可能な状態に設定しておく必要があります。



### スクリプト実行の危険性について

スクリプト内では任意の処理を行う事が可能ですので、内容によっては既存のファイルやディレクトリを破損するなど重大な問題を生じさせる可能性があります。

スクリプトに不明な点がある場合には処理を中断し、CGI パッケージの内容を十分に確認してください。

ユーザーが作成したスクリプトの処理により不具合が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、この作業は慎重に行ってください。

## 4. CGI管理

### CGI管理

インストールしたCGIのアンインストールを行います。

名称	バージョン	インストール先	アクション
PukiWiki 1.4.5_1		/var/www/html	

この画面では各ユーザーがインストールした CGI のアップデート及びアンインストールを行います。アンインストールまたはアップデートを行うパッケージのそれぞれのボタンを押すと確認画面が表示されます。

### アンインストール

以下のパッケージをアンインストールする場合、「設定する」ボタンを押して下さい。

名称	PukiWiki
バージョン	1.4.5_1
配布元	HDE, Inc.
詳細	PHPで動作しているWikiエンジン
アンインストールスクリプト	<pre>#!/bin/sh # # @(#) PukiWiki uninstall script prefix=\${1}/pukiwiki  uninstall_error() {   echo "\$1" &gt;&amp;2   exit 1 }</pre>

戻る 設定する

内容に問題がない事を確認後、「設定する」ボタンを押すと、アンインストールスクリプトが実行されます。

## 第 16 章 CGI インストール

アンインストールスクリプトの実行はログインユーザーの権限で行われます。



アンインストールスクリプトの実行にもインストールスクリプトと同様の危険性があります。詳細についてはインストールの項の注意書き「スクリプト実行の危険性について」をご参照ください。

## 5. CGIの初期化

多くの CGI パッケージはユーザー共通の設定のみ行われた状態でインストールされます。そのため、個別の設定を行うにはインストール後に手作業による設定を行わなくてはなりません。

手作業で行わなくてはならない一般的な設定には以下のようなものがあります。

- ・ ファイルアクセス権限の設定
- ・ 初期パスワードの設定
- ・ 設定ファイルの編集

これらについては各 CGI パッケージに依存しておりますので、詳細についてはパッケージ付属のドキュメント及び配布元 URL をご参照ください。

### 6. CGIパッケージング

本機能を使用するための CGI パッケージの仕様について説明いたします。

#### ● ディレクトリ構成

/ はディレクトリを表します。

```
/
+---/ package.xml
+---/ scripts
|   +--- install
|   +--- uninstall
|
+---/ sources
      +--- CGI ファイル
      +--- CGI ファイル
```

#### ● ファイル・ディレクトリ仕様

- ・ scripts ディレクトリ(必須)  
install、uninstall の各実行ファイルが格納されます。
- ・ sources ディレクトリ(必須)  
オリジナルの CGI ファイルが格納されます。CGI インストール処理はログインユーザーの権限で行われますので、最低限全ユーザーに読み取り権限を与えた形で格納しておく必要があります。
- ・ package.xml ファイル(必須)  
この CGI パッケージの情報を記載します。

- package.xml サンプル

ファイルの文字コードは、[UTF-8]で作成してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<package version="1.0" packagerversion="0.1">
  <name>PukiWiki</name>
  <packagename>pukiwiki-1.4.5_1_notb</packagename>
  <url>http://221.245.246.245/</url>
  <sitename>http://221.245.246.245/</sitename>
  <vendor>HDE, Inc.</vendor>
  <description>PHP で動作している Wiki エンジン</description>
  <license>GPL version 2</license>
  <changelog>
The first package --- (Changelog)
  </changelog>
  <release>
    <state>stable</state>
    <packageversion>1.0.0</packageversion>
    <version>1.4.5_1</version>
    <date>2005-09-03</date>
  </release>
</package>
```

## 第 16 章 CGI インストール

- パラメーター一覧

### package

name	プログラム名(必須)
packagename	system 用プログラム名(必須)
url	サイトの URL
vendor	配布しているサイトの名称
description	プログラムの説明。概要
changelog	プログラムの Changelog
license	プログラムのライセンス

### package/release

version	バージョン
packageversion	system 用バージョン(必須)
date	パッケージの作成日
state	パッケージの安定性

- install ファイル(必須)

ユーザーがインストールを行う際に実行される実行ファイルです。シェルスクリプト他任意の書式で記述することができます。

- uninstall ファイル

ユーザーがアンインストールを行う際に実行される実行ファイルです。シェルスクリプト他任意の書式で記述することができます。

- CD 付属のサンプル CGI パッケージ

CD の HDE/HDE\_Controller\_5.0/misc/CGI/sample ディレクトリにサンプルの CGI パッケージが格納されています。これらのサンプル CGI パッケージはパッケージ作成の参考として収録しているものですので、その内容や使用方法等につきましてはサポート対象外となります。また、環境によりましては CGI が正常に動作しない可能性もございますので、ご了承ください。



HDE Controller 5 ISP Edition バーチャルドメインマニュアル

2008年5月1日第一版 5-001

株式会社 HDE

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16-28 グラスシティ渋谷 11F

